

神 学 研 究 科

神学専攻

組織神学専攻

1. 神学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

前期課程には、修士に加えてカトリック教会の教授資格（STL）を与える組織神学コース、聖書研究の方法論を身につける聖書神学コース（M.Bib を授与）、宣教や司牧の実践について学ぶキリスト教教育コース（M.Div を授与）及び教会での奉仕の現場にたずさわる人々を養成する宣教実務者コースを設けるが、いずれも神学全般についての知識と理解を重視する。また研究者養成を主目的とする後期課程（条件を満たせばカトリック教会の学位 STD を授与）においては、研究のみでなく教育訓練を課程に組み込む。

カトリック司祭・修道者とカトリック学校での宗教科教員の養成、及び自己のキリスト教信仰を客観的・批判的に省察することにより教会に貢献できる人材養成を主目的とする。

2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

神学専攻

【博士前期課程】

キリスト教に関する専門科目をカトリック神学の伝統に基づいて包括的に開講します。すなわち、教義神学（キリスト論・秘跡論・基礎神学・マリア論・恩恵論・キリスト教諸教派間対話）、歴史神学（ギリシア教父学・東方キリスト教学・日本キリスト教史・教理史）、倫理神学（基礎倫理・いのちの倫理・性の倫理・社会倫理）、教会法、典礼学、霊性神学、旧約・新約聖書学、ギリシア語・ヒブル語などの古典語、および教育やパストラルケア、キリスト教文学、キリスト教と他宗教とのかかわりなどの実践神学科目です。

学生は、自分の関心と必要に応じて、それぞれの授業科目を履修することから神学についての専門性を深めていきますが、そのために、組織神学コース、聖書神学コース、キリスト教教育コース、宣教実務者コースが提供されています。

組織神学専攻

【博士後期課程】

履修要件は、研究指導と教育訓練からなっています。

研究指導は、指導教員のもとで博士論文を作成することおよび積極的な学会での研究発表を通しておこなわれます。

教育訓練は、研究指導者ないし研究科委員長が適当と認める研究科教員の講義・演習科目における講義実習や演習指導実習を通しておこなわれます。

3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

神学専攻

【博士前期課程】

本課程に2年（4学期）以上在学して所定の選択科目（30単位）を履修し、かつ研究指導を受けた上で修士論文を提出し、学科と論文についての最終試験に合格した学生に修士（神学）の学位が授与されます。

上記以外に、組織神学コース、聖書神学コース、キリスト教教育コース、宣教実務者コースのいずれかに属し、それぞれの要件を満たすことにより、修士（神学）に加えて各コースの学位を取得することができます。

組織神学コースでは、神学部の組織神学系を修了、もしくはそれと同等の要件を満たした上で、規定の教義神学科目（16単位以上）と選択科目（14単位以上）および「研究指導」を履修し、論文審査と総合試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、全世界のカトリック教会に共通な教会法上の学位 STB（*Sacrae Theologiae*

Baccalaureatus) を取得することができます。またさらに規定の選択必修科目 (18 単位以上) を履修し、論文審査と総合試験に合格すれば、*STL (Sacrae Theologiae Licentiatius)* の学位を取得することができます。

聖書神学コースでは、規定の聖書神学科目 (18 単位以上) と選択科目 (12 単位以上) および「研究指導」を履修し、論文審査と総合試験に合格すれば、修士 (神学) の学位に加えて、*M. Bib (Master of Biblical Studies)* の学位を取得することができます。

キリスト教教育コースでは、規定の実践神学科目 (18 単位以上) と選択科目 (12 単位以上)、および「研究指導」を履修し論文審査と総合試験に合格すれば、修士 (神学) の学位に加えて、*M. Div (Master of Divinity)* の学位を取得することができます。

宣教実務者コースは、指導教員の指導のもとで各人のニーズに応じた履修計画をたて、所定の 30 単位以上を履修します (成績優秀な者には早期修了制度が適用されます)。研究科において適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に変えることができます。

組織神学専攻

【博士後期課程】

本課程に 3 年 (6 学期) 以上在学し、所定の研究指導を受けた上で博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格すれば、博士 (神学) の学位を取得することができます。また必要な要件を満たしている場合には、*STD (Sacrae Theologiae Doctoratus)* の学位をも取得することができます。

なお博士論文作成は、適切な時期に実施される博士論文執筆資格試験に合格した後に承認されます。

神学専攻 博士前期課程

【14年次生以降】

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
・選択科目	30		
└自専攻科目			
研究指導（必修）			単位なし，毎学期，履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （「研究指導」は毎学期履修登録期間に登録し，「修士論文」は修了予定年次に履修登録すること）

【修士論文審査基準】

当該分野・領域における研究課題に自立的に取り組むことによって，カトリックの世界に止まらず，広く一般世界における諸問題の解決のために，相応しい方法論と論述を遂行する能力が認められること。

- 1) 問題設定：問題意識が明確で，課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解：先行研究を適切に理解・検討・吟味していること。
- 3) 研究方法：研究目的に対して，研究計画・研究方法・分析・展開・統合が適切であること。
- 4) 論文構成：論文構成が的確で，論理展開に整合性・一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ：当該分野・領域において，学術的・教会的・社会的な意義が適切に認められること。
- 6) 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - ① 序論，本論（章・節），結論にわたって，構成が適切であり，目次によって全体の論旨・展開が概観できること。
 - ② 文章が明快で，論旨が明晰判明に理解可能であること。
 - ③ 引用の方法・内容が適切で，引用文献表が簡潔に整えられていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<教義学>			
キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)			2
教会論特講			2
入信の秘跡			2
聖餐の秘跡			2
ゆるしと叙階の秘跡			2
結婚の秘跡			2
基礎神学Ⅰ			2
基礎神学Ⅱ			2
恩恵論			2
マリア論			2
エキュメニズムⅠ			2
エキュメニズムⅡ			2
<教会史>			
日本キリスト教史			2
教父学（旧：教父たちの思想特講）			2
東方キリスト教史			2
教理Ⅰ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
教理Ⅱ			2
<組織神学：演習>			
現代カトリック教義学Ⅰ			2
現代カトリック教義学Ⅱ			2
キリスト教ラテン語原典研究			2
<キリスト教教育：演習>			
キリスト教教育ゼミナールⅠ			2
キリスト教教育ゼミナールⅡ			2
キリスト教教育ゼミナールⅢ			2
キリスト教教育ゼミナールⅣ			2
<人間学>			
キリスト教教育Ⅰ			2
キリスト教教育Ⅱ			2
キリスト教文学特講Ⅰ			2
キリスト教文学特講Ⅱ			2
宗教倫理思想Ⅰ			2
宗教倫理思想Ⅱ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
社会正義論			2
平和学特講			2
キリスト教音楽美学研究Ⅰ			2
キリスト教音楽美学研究Ⅱ			2
<聖書神学：演習>			
聖書神学研究ゼミナールⅠ(古代イスラエル史)			2
聖書神学研究ゼミナールⅡ(旧約聖書原典批判)			2
聖書神学研究ゼミナールⅢ			2
聖書神学研究ゼミナールⅣ			2
<聖書釈義>			
モーセ五書特講			2
詩編と知恵特講			2
預言者特講			2
パウロ特講			2
新約文献特講			2
<倫理神学>			
倫理神学特講Ⅰ(良心と自然法)			2
倫理神学特講Ⅱ(いのちと性)			2
倫理神学特講Ⅲ(聖書と霊性)			2
倫理神学特講Ⅳ(徳と人格)			2
社会倫理特講			2
Conscience, Catholicism and Politics			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<教会法>			
教会法Ⅰ(秘跡法の入門と実践)			2
教会法Ⅱ(教会生活における法規と運用)			2
ゆるしの秘跡の司牧			
<典礼>			
宣教学特講Ⅰ			2
宣教学特講Ⅱ			2
典礼神学Ⅰ			2
典礼神学Ⅱ			2
典礼神学特講Ⅰ(実践基礎論)			2
典礼神学特講Ⅱ(原典研究)			2
典礼と霊性Ⅰ			2
典礼と霊性Ⅱ			2
<霊性>			
現代の霊性Ⅰ(祈りの現代的意義)			2
現代の霊性Ⅱ (キリスト教的霊性の現代的展開)			2
現代司牧の諸問題Ⅰ(現代のカテキズム)			2
現代司牧の諸問題Ⅱ (日本におけるカトリック教会司牧とその使命)			2
パストラル・ケア特講			2

3. 履修上の注意

- 1) 入学後指定の期日までに、「指導教員登録票」および「コース登録票」を研究科事務室に提出する。
- 2) 基本的には選択科目を30単位以上履修し、必要な「研究指導」を受け、修士論文の審査および試験に合格すれば、修士(神学)の学位を取得することができる。

または、組織神学コース、キリスト教教育コース(旧「キリスト教倫理・文化コース」・「実践神学コース」)、聖書神学コース、宣教実務者コースのいずれかに所属してそれぞれの要件を満たすことにより、修士(神学)に加えて、各コースの学位が取得できる。

コースに所属するか否かに関わらず、履修すべき基礎的科目はそれぞれの学歴によって異なるため、あらかじめ研究科委員長の指導を受け、所属を志望するコースと指導教員を決めておくこと。

なお、「研究指導」は必ず每学期履修登録し、「修士論文」は修了予定年次に履修登録すること。

- 3) 科目名について、ローマ数字Ⅰ、Ⅱが付与されている科目のうち括弧()による副題の記載のあるものは、ⅠあるいはⅡを単独で履修することができる。他方副題が記載されていない科目は、ⅠおよびⅡの両方を履修することを前提として授業が組み立てられている。

科目名に「特講」とある科目は、それに対応する学部ないし大学院開講科目の履修を前提として授業が進められる。

- 4) 担当教員の許可を得れば、神学研究科博士前期課程の学生も後期課程の開講科目を履修し、これを前期課程修了要件の単位として加算することができる。詳細については、p.50以降の博士後期課程の頁を参照のこと。また指導教員と相談の上、論文指導の便宜のために重複履修した科目を修了単位として数えることができる。

【組織神学コース】

組織神学コースに所属するためには、神学部の組織神学副専攻または神学系の修了もしくはそれと同等の要件を満たしていなければならない。規定の教義神学選択必修科目を16単位以上、選択科目を14単位（聖書神学4単位と実践神学〈倫理神学・教会法・典礼・霊性〉6単位を含む）以上を履修し、論文審査と総合試験に合格すれば、修士（神学）の学位が取得できる。全世界のカトリック教会に共通な教会法上の学位 STB (*Sacrae Theologiae Baccalaureatus*)、および STL (*Sacrae Theologiae Licentiatus*) の学位取得をめざす者は、教皇庁神学部長に相談すること。

教義神学選択必修(16)	キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)(2) または、 キリスト論特講(2)	聖餐の秘跡(2)
	教会論特講(2)	ゆるしと叙階の秘跡(2)
	入信の秘跡(2)	結婚の秘跡(2)
	基礎神学Ⅰ／Ⅱ(4)	現代カトリック教義学Ⅰ／Ⅱ(4)
	恩恵論(2)	
	マリア論(2)	
選択(14) 【但し、聖書神学(4)、 倫理神学・教会法・典 礼・霊性より(6)を含 む】	教父学(2) または 教父たちの思想特講(2)	日本キリスト教史(2)
	エキュメニズムⅠ／Ⅱ(4)	ギリシア教父学(2) 東方キリスト教学(2)
	キリスト教ラテン語原典研究(2)	教理史Ⅰ／Ⅱ(4)

【キリスト教教育コース】

キリスト教教育コース（旧「キリスト教倫理・文化コース」・「実践神学コース」）に所属する者は、必修科目「キリスト教教育ゼミナールⅠ～Ⅳ」を8単位、選択必修科目を10単位以上、自由選択科目を12単位以上履修し、論文審査と総合試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Div (Master of Divinity) の学位が取得できる。自由選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

演習 必修(8)	キリスト教教育ゼミナールⅠ～Ⅳ(8)	
人間学 選択必修(10)	キリスト教教育Ⅰ(2) キリスト教教育Ⅱ(2) キリスト教文学特講Ⅰ(2) キリスト教文学特講Ⅱ(2) 宗教倫理思想Ⅰ(2) 宗教倫理思想Ⅱ(2)	社会正義論(2) 平和学特講(2) キリスト教音楽美学研究Ⅰ(2) キリスト教音楽美学研究Ⅱ(2)
自由選択(12)		

【聖書神学コース】

聖書神学コースに所属する者は、必修科目「聖書神学研究ゼミナールⅠ～Ⅳ」（重複履修不可）を8単位、聖書釈義選択必修科目を10単位（2回まで同一科目の重複履修を認める）、自由選択科目を12単位以上履修し、論文審査と総合試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Bib（Master of Biblical Studies）の学位が取得できる。自由選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

演習 必修 (8) ※重複履修は認めない	聖書神学研究ゼミナールⅠ（古代イスラエル史）(2) 聖書神学研究ゼミナールⅡ（旧約聖書原典批判）(2) 聖書神学研究ゼミナールⅢ(2) 聖書神学研究ゼミナールⅣ(2)
聖書釈義 選択必修 (10) ※2回まで同一科目の重複履修を認める	モーセ五書特講(2) 詩編と知恵特講(2) 預言者特講(2) パウロ特講(2) 新約文献特講(2)
自由選択(12)	

【宣教実務者コース】

宣教実務者コースの出願資格および修了要件は以下のとおりである。

【出願資格】以下の条項のいずれかに該当することが必要。

- ① カトリック教会の教会法上の学位（STB, STL, STD）を有する者。
- ② キリスト教会において司祭・牧師として正式に選任された聖職者。
- ③ 上智大学神学部「宣教実務系」を修了した者。

【修了要件】

- ① 本コースに属する学生は、指導教員の指導のもとで各人のニーズに応じた履修計画を立て、博士前期課程の開講科目から1年間で30単位以上を履修する。
- ② 在学期間については、通常2年以上であるが、優れた業績を上げた者については、1年間の在学で足りるものとする。その場合、修士論文は課さないが、その代わりに指導教員の指導のもとで各自の「課題研究報告書」を作成し提出する。修了要件②は適用されず在学期間は2年以上とし、さらに修士論文を完成させなければならない。

【11年～13次生】

※在學生は修了まで入学年度の要件とする

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
・選択科目	30		
└自専攻科目			
研究指導（必修）			単位なし，毎学期，履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （「研究指導」は毎学期履修登録期間に登録し，「修士論文」は修了予定年次に履修登録すること）

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<教義学>			
キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)			2
教会論特講			2
入信の秘跡			2
聖餐の秘跡			2
ゆるしと叙階の秘跡			2
結婚の秘跡			2
基礎神学Ⅰ			2
基礎神学Ⅱ			2
恩恵論			2
マリア論			2
エキュメニズムⅠ			2
エキュメニズムⅡ			2
<教会史>			
日本キリスト教史			2
教父学(旧「教父たちの思想特講」)			2
東方キリスト教史			2
教理史Ⅰ			2
教理史Ⅱ			2
<組織神学：演習>			
現代カトリック教義学Ⅰ			2
現代カトリック教義学Ⅱ			2
キリスト教ラテン語原典研究			2
<倫理神学>			
倫理神学特講Ⅰ(良心と自然法)			2
倫理神学特講Ⅱ(いのちと性)			2
倫理神学特講Ⅲ(聖書と霊性)			2
倫理神学特講Ⅳ(徳と人格)			2
社会倫理特講			2
平和学特講			2
Conscience, Catholicism and Politics			2
<教会法>			
教会法Ⅰ(秘跡法の入門と実践)			2
教会法Ⅱ(教会生活における法規と運用)			2
ゆるしの秘跡の司牧			2
<典 礼>			
宣教学特講Ⅰ			2
宣教学特講Ⅱ			2
典礼神学Ⅰ			2
典礼神学Ⅱ			2
典礼神学特講Ⅰ(実践基礎論)			2
典礼神学特講Ⅱ(原典研究)			2
典礼と霊性Ⅰ			2
典礼と霊性Ⅱ			2
<靈 性>			
現代の霊性Ⅰ(祈りの現代的意義)			2
現代の霊性Ⅱ(キリスト教的霊性の現代的展開)			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
現代司牧の諸問題Ⅰ(現代的カテキズム)			2
現代司牧の諸問題Ⅱ (日本におけるカトリック教会司牧とその使命)			2
<人間学>			
パストラル・ケア特講			2
キリスト教教育Ⅰ(旧「キリスト教教育」)			2
キリスト教教育Ⅱ (旧「人間教育とキリスト教演習」)			2
キリスト教文学特講Ⅰ (旧「キリスト教文学特講」)			2
宗教倫理思想Ⅰ(旧「宗教思想史」)			2
宗教倫理思想Ⅱ(旧「現代ユダヤ教思想」)			2
キリスト教音楽美学研究Ⅰ			2
キリスト教音楽美学研究Ⅱ			2
<演 習>			
キリスト教教育ゼミナールⅠ (旧「人間教育とキリスト教特講」)			2
キリスト教教育ゼミナールⅡ (旧「宗教思想史演習」)			2
キリスト教教育ゼミナールⅢ (旧「現代ユダヤ教思想演習」)			2
キリスト教教育ゼミナールⅣ (旧「平和学演習」)			2
キリスト教文学特講Ⅱ (旧「キリスト教文学演習」)			2
社会正義論(旧「社会倫理演習」)			2
<聖書釈義>			
「モーセ五書特講」 (旧「モーセ五書特講Ⅰ(釈義)」)			2
詩編と知恵特講 (旧「詩編と知恵特講Ⅰ(釈義)」)			2
預言者特講 (旧「預言者特講Ⅰ(預言者の使信)」)			2
パウロ特講 (旧「パウロ特講Ⅰ(伝記的・歴史的考察)」)			2
新約文献特講 (旧「新約文献特講Ⅰ(新約釈義の諸方法)」)			2
<聖書神学：演習>			
聖書神学研究ゼミナールⅠ(古代イスラエル史) (旧「旧約聖書演習Ⅰ(古代イスラエル史)」)			2
聖書神学研究ゼミナールⅡ(旧約聖書原典批判) (旧「旧約聖書演習Ⅱ(旧約聖書原典批判)」)			2
聖書神学研究ゼミナールⅢ (旧「新約聖書演習Ⅰ(共観福音書の釈義演習)」)			2
聖書神学研究ゼミナールⅣ (旧「新約聖書演習Ⅱ(ヨハネ文書の釈義演習)」)			2

3. 履修上の注意

- 1) 入学後指定の期日までに、「指導教員登録票」および「コース登録票」を研究科事務室に提出する。
- 2) 基本的には選択科目を30単位以上履修し、必要な「研究指導」を受け、修士論文の審査および試験に合格すれば、修士（神学）の学位を取得することができる。
 または、組織神学コース、キリスト教倫理・文化コース（旧実践神学コース）、聖書神学コースのいずれかに所属してそれぞれの要件を満たすことにより、修士（神学）に加えて、各コースの学位が取得できる。
 コースに所属するか否かに関わらず、履修すべき基礎的科目はそれぞれの学歴によって異なるため、あらかじめ研究科委員長の指導を受け、所属を志望するコースと指導教員を決めておくこと。
 なお、「研究指導」は必ず每学期履修登録し、「修士論文」は修了予定年次に履修登録すること。
- 3) 科目名について、ローマ数字Ⅰ、Ⅱが付与されている科目のうち括弧（ ）による副題の記載のあるものは、ⅠあるいはⅡを単独で履修することができる。他方副題が記載されていない科目は、ⅠおよびⅡの両方を履修することを前提として授業が組み立てられている。
 科目名に「特講」とある科目は、それに対応する学部ないし大学院開講科目の履修を前提として授業が進められる。
- 4) 担当教員の許可を得れば、神学研究科博士前期課程の学生も後期課程の開講科目を履修し、これを前期課程修了要件の単位として加算することができる。詳細については、p.50以降の博士後期課程の頁を参照のこと。また指導教員と相談の上、論文指導の便宜のために重複履修した科目を修了単位として数えることができる。

【組織神学コース】

組織神学コースに所属するためには、神学部の組織神学副専攻または神学系の修了もしくはそれと同等の要件を満たしていなければならない。規定の教義神学科目を16単位（必修12単位+選択必修4単位）以上、選択科目を14単位（聖書神学4単位と実践神学6単位を含む）以上を履修し、論文審査と総合試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、全世界のカトリック教会に共通な教会法上の学位 STB (Sacrae Theologiae Baccalaureatus) が取得できる。さらにこれに加えて規定の選択必修科目18単位以上を履修し、論文審査と総合試験に合格すれば STL (Sacrae Theologiae Licentia) が取得できる。選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

教義神学必修(12)	キリスト論特講 (キリスト論と三位一体論) (2) または、 キリスト論特講(2)	聖餐の秘跡(2)
	教会論特講(2)	ゆるしと叙階の秘跡(2)
	入信の秘跡(2)	結婚の秘跡(2)
教義神学選択必修(4)	基礎神学Ⅰ／Ⅱ(4)	神学総論Ⅰ／Ⅱ(4)
	恩恵論(2)	現代カトリック教義学Ⅰ／Ⅱ(4)
	マリア論(2)	
選択(14) 【但し、聖書神学(4) 実践神学(6)を含む】	教父学(2)または、 教父たちの思想特講(2)	日本キリスト教史(2)
	エキュメニズムⅠ／Ⅱ(4)	ギリシア教父学(2)・東方キリスト教学(2)
	キリスト教ラテン語原典研究(2)	教理史Ⅰ／Ⅱ(4)

STL 取得のためには神学総論を含めさらに18単位

【キリスト教倫理・文化コース】

キリスト教倫理・文化コース（旧実践神学コース）に所属する者は、規定の選択必修科目を 16 単位以上、自由選択科目を 14 単位以上履修し、論文審査と総合試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Div（Master of Divinity）の学位を取得できる。自由選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

キリスト教倫理・文化 選択必修(16)	生命倫理(2)	ゆるしの秘跡の司牧(2)
	性の倫理特講(2)	典礼神学Ⅰ／Ⅱ(4)
	社会倫理特講(2) 平和学特講(2)	宣教学特講Ⅰ(2) 宣教学特講Ⅱ(2) または、説教学(2)
	教会法Ⅰ(秘跡法の入門と実践)(2), 教会法Ⅱ(教会生活における法規と運用)(2)	現代司牧の諸問題Ⅰ(現代のカテキズム)(2), 現代司牧の諸問題Ⅱ(日本におけるカトリック教会司牧とその使命)(2)
	現代の霊性Ⅰ(祈りと現代的意義)(2), 現代の霊性Ⅱ(キリスト教的霊性の現代的展開)(2)	パストラル・ケア特講(2)
	キリスト教音楽美学研究Ⅰ(2) キリスト教音楽美学研究Ⅱ(2)	倫理神学特講Ⅰ(良心と自然法)(2) 倫理神学特講Ⅱ(いのちと性)(2) 倫理神学特講Ⅲ(聖書と霊性)(2) 倫理神学特講Ⅳ(徳と人格)(2)
		典礼神学特講Ⅰ(実践基礎論)(2) 典礼神学特講Ⅱ(原典研究)(2)
自由選択(14)		

【聖書神学コース】

聖書神学コースに所属する者は、規定の聖書神学選択必修科目を 16 単位以上、自由選択科目を 14 単位以上履修し、論文審査と総合試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Bib（Master of Biblical Studies）の学位を取得できる。自由選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

聖書神学選択必修(16)	モーセ五書特講(2) または、 モーセ五書特講Ⅰ(積義)(2) モーセ五書特講Ⅱ(入門と神学)(2)	パウロ特講(2) パウロ特講Ⅰ(伝記的・歴史的考察)(2) パウロ特講Ⅱ(積義的・神学的考察)(2)
	詩編と知恵特講(2) または、 詩編と知恵特講Ⅰ(積義)(2) 詩編と知恵特講Ⅱ(入門と神学)(2)	新約文献特講(2) または、 新約文献特講Ⅰ(新約積義の諸方法)(2) 新約文献特講Ⅱ(新約諸文書の入門と神学)(2)
	預言者特講(2) または、 預言者特講Ⅰ(預言者の使信)(2) 預言者特講Ⅱ(預言者と現代)(2)	聖書ギリシア語原典研究Ⅰ(物語文学の講読)(2) 聖書ギリシア語原典研究Ⅱ(書簡文学の講読)(2) 聖書ヒブル語原典研究Ⅰ(物語テキストの講読)(2) 聖書ヒブル語原典研究Ⅱ(韻文テキストの講読)(2)
	聖書神学研究ゼミナールⅠ(古代イスラエル史)(2) または、 旧約聖書演習Ⅰ(古代イスラエル史)(2) 聖書神学研究ゼミナールⅡ(旧約聖書原典批判)(2) または、 旧約聖書演習Ⅱ(旧約聖書原典批判)(2)	聖書神学研究ゼミナールⅢ(2) または、 新約聖書演習Ⅰ(共観福音書の積義演習)(2) 聖書神学研究ゼミナールⅣ または、 新約聖書演習Ⅱ(ヨハネ文書の積義演習)(2)
自由選択(14)		

【10年次生以前】

※在学生は修了まで入学年度の要件とする。

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
・必修科目	6		
└論文研究	6		
・選択科目	24		
└自専攻科目			
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文」を履修登録すること)

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<教義学>			
キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)			2
教会論特講			2
入信の秘跡			2
聖餐の秘跡			2
ゆるしと叙階の秘跡			2
結婚の秘跡			2
基礎神学Ⅰ			2
基礎神学Ⅱ			2
恩恵論			2
マリア論			2
エキュメニズムⅠ			2
エキュメニズムⅡ			2
<教会史>			
日本キリスト教史			2
教父学(旧「教父たちの思想特講」)			2
東方キリスト教学			2
教理史Ⅰ			2
教理史Ⅱ			2
<組織神学：演習>			
現代カトリック教義学Ⅰ			2
現代カトリック教義学Ⅱ			2
キリスト教ラテン語原典研究			2
<倫理神学>			
倫理神学特講Ⅰ(良心と自然法)			2
倫理神学特講Ⅱ(いのちと性)			2
倫理神学特講Ⅲ(聖書と霊性)			2
倫理神学特講Ⅳ(徳と人格)			2
Conscience, Catholicism and Politics			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
社会倫理特講			2
平和学特講			2
<教会法>			
教会法Ⅰ(秘跡法の入門と実践)			2
教会法Ⅱ(教会生活における法規と運用)			2
ゆるしの秘跡の司牧			2
<典 礼>			
宣教学特講Ⅰ			2
宣教学特講Ⅱ			2
典礼神学Ⅰ			2
典礼神学Ⅱ			2
典礼神学特講Ⅰ(実践基礎論)			2
典礼神学特講Ⅱ(原典研究)			2
典礼と霊性Ⅰ			2
典礼と霊性Ⅱ			2
<霊 性>			
現代の霊性Ⅰ(祈りの現代的意義)			2
現代の霊性Ⅱ(キリスト教的霊性の現代的展開)			2
現代司牧の諸問題Ⅰ(現代的カテキズム)			2
現代司牧の諸問題Ⅱ (日本におけるカトリック教会司牧とその使命)			2
<人間学>			
パストラル・ケア特講			2
キリスト教教育Ⅰ (旧「キリスト教教育」)			2
キリスト教教育Ⅱ (旧「人間教育とキリスト教演習」)			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
キリスト教文学特講Ⅰ (旧「キリスト教文学特講」)			2
宗教倫理思想Ⅰ (旧「宗教思想史」)			2
宗教倫理思想Ⅱ (旧「現代ユダヤ教思想」)			2
社会正義論 (旧「社会倫理演習」)			2
キリスト教音楽美学研究Ⅰ			2
キリスト教音楽美学研究Ⅱ			2
<キリスト教倫理・文化：演習>			
キリスト教教育ゼミナールⅠ (旧「人間教育とキリスト教特講」)			2
キリスト教教育ゼミナールⅡ (旧「宗教思想史演習」)			2
キリスト教教育ゼミナールⅢ (旧「現代ユダヤ教思想演習」)			2
キリスト教教育ゼミナールⅣ (旧「平和学演習」)			2
キリスト教文学特講Ⅱ (旧「キリスト教文学演習」)			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<聖書釈義>			
「モーセ五書特講」 (旧「モーセ五書特講Ⅰ（釈義）」)			2
詩編と知恵特講 (旧「詩編と知恵特講Ⅰ（釈義）」)			2
預言者特講 (旧「預言者特講Ⅰ（預言者の使信）」)			2
パウロ特講 (旧「パウロ特講Ⅰ（伝記的・歴史的考察）」)			2
新約文献特講 (旧「新約文献特講Ⅰ（新約釈義の諸方法）」)			2
<聖書神学：演習>			
聖書神学研究ゼミナールⅠ（古代イスラエル史） (旧「旧約聖書演習Ⅰ（古代イスラエル史）」)			2
聖書神学研究ゼミナールⅡ（旧約聖書原典批判） (旧「旧約聖書演習Ⅱ（旧約聖書原典批判）」)			2
聖書神学研究ゼミナールⅢ (旧「新約聖書演習Ⅰ（共観福音書の釈義演習）」)			2
聖書神学研究ゼミナールⅣ (旧「新約聖書演習Ⅱ（ヨハネ文書の釈義演習）」)			2
<論文研究>			
論文研究	6		

3. 履修上の注意

1) 基本的には選択科目を24単位以上と「論文研究」（6単位）を履修し、修士論文の審査および試験に合格すれば、修士（神学）の学位を取得することができる。

また、組織神学コース、キリスト教倫理・文化コース（旧実践神学コース）、聖書神学コースのいずれかに所属してそれぞれの要件を満たすことにより、修士（神学）に加えて、各コースの学位が取得できる。

コースに所属するか否かに関わらず、履修すべき基礎的科目はそれぞれの学歴によって異なるため、あらかじめ研究科委員長の指導を受け、所属を志望するコースと指導教員を決めておくこと。

なお、「論文研究」は2年次に履修登録し、「修士論文」は修了予定年次に履修登録すること。

2) 科目名について、ローマ数字Ⅰ、Ⅱが付与されている科目のうち括弧（ ）による副題の記載のあるものは、ⅠあるいはⅡを単独で履修することが可能である。他方副題が記載されていない科目は、ⅠおよびⅡの両方を履修することを前提として授業が組み立てられている。

科目名に「特講」とある科目は、それに対応する学部ないし大学院開講科目の履修を前提として授業が進められる。

3) 担当教員の許可を得れば、神学研究科博士前期課程の学生も後期課程の開講科目を履修し、これを前期課程修了要件の単位として加算することができる。p.50以降の博士後期課程の頁を参照のこと。

【組織神学コース】

組織神学コースに所属するためには、神学部の組織神学副専攻の修了もしくはそれと同等の要件を満たしていなければならない。規定の教義神学科目を16単位（必修12単位＋選択必修4単位）以上、選択科目を14単位（聖書神学4単位と実践神学6単位を含む）以上、および「論文研究」（6単位）を履修し、論文審査と総合試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、全世界のカトリック教会に共通な教会法上の学位STB (Sacrae Theologiae Baccalaureatus) が取得できる。さらに、これに加えて規定の選択必修科目を18単位以上履修し、論文審査と総合試験に合格すればSTL (Sacrae Theologiae Licentia) が取得できる。選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

教義神学必修(12)	キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)(2) または キリスト論特講(2)	聖餐の秘跡(2)
	教会論特講(2)	ゆるしと叙階の秘跡(2)
	入信の秘跡(2)	結婚の秘跡(2)
教義神学選択必修(4)	基礎神学Ⅰ／Ⅱ(4)	神学総論Ⅰ／Ⅱ(4)
	恩恵論(2)	現代カトリック教義学Ⅰ／Ⅱ(4)
	マリア論(2)	
選択(14) 【但し、聖書神学(4) 実践神学(6)を含む】	教父学(2) または、 教父たちの思想特講(2)	日本キリスト教史特講(2)
	エキュメニズムⅠ／Ⅱ(4)	ギリシア教父学(2) 東方キリスト教学(2)
	キリスト教ラテン語原典研究(2)	教理史Ⅰ／Ⅱ(4)
論文研究(6)		

【キリスト教倫理・文化コース】

キリスト教倫理・文化コース(旧実践神学コース)に所属する者は、規定の選択必修科目を16単位以上、自由選択科目を8単位以上、および「論文研究」(6単位)を履修し、論文審査と総合試験に合格すれば、修士(神学)の学位に加えて、M. Div (Master of Divinity)の学位が取得できる。自由選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

キリスト教倫理・ 文化選択必修(16)	生命倫理(2)	ゆるしの秘跡の司牧(2)
	性の倫理特講(2)	典礼神学Ⅰ／Ⅱ(4)
	社会倫理特講(2) 平和学特講(2)	宣教学特講Ⅰ(2) 宣教学特講Ⅱ(2) または、 説教学(2)
	教会法Ⅰ(秘跡法の入門と実践)(2)、 教会法Ⅱ(教会生活における法規と運用)(2)	現代司牧の諸問題Ⅰ(現代的カテキズム)(2)、 現代司牧の諸問題Ⅱ(日本におけるカトリック教会司牧とその使命)(2)
	現代の霊性Ⅰ(祈りと現代的意義)(2)、 現代の霊性Ⅱ(キリスト教的霊性の現代的展開)(2) 典礼と霊性Ⅰ／Ⅱ(4)	パストラル・ケア特講(2)
	キリスト教音楽美学研究Ⅰ／Ⅱ(4)	倫理神学特講Ⅰ(良心と自然法)(2) 倫理神学特講Ⅱ(いのちと性)(2) 倫理神学特講Ⅲ(聖書と霊性)(2) 倫理神学特講Ⅳ(徳と人格)(2)
		典礼神学特講Ⅰ(実践基礎論)(2) 典礼神学特講Ⅱ(原典研究)(2)
自由選択(8)		
論文研究(6)		

【聖書神学コース】

聖書神学コースに所属する者は、規定の聖書神学選択必修科目を16単位以上、自由選択科目を8単位以上、および「論文研究」(6単位)を履修し、論文審査と総合試験に合格すれば、修士(神学)の学位に加えて、M. Bib (Master of Biblical Studies)の学位が取得できる。自由選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

聖書神学選択必修(16)	モーセ五書特講(2) または、 モーセ五書特講Ⅰ(釈義)(2) モーセ五書特講Ⅱ(入門と神学)(2)	パウロ特講(2) パウロ特講Ⅰ(伝記的・歴史的考察)(2) パウロ特講Ⅱ(釈義的・神学的考察)(2)
	詩編と知恵特講(2) または 詩編と知恵特講Ⅰ(釈義)(2) 詩編と知恵特講Ⅱ(入門と神学)(2)	新約文献特講(2) または 新約文献特講Ⅰ(新約釈義の諸方法)(2) 新約文献特講Ⅱ(新約諸文書の入門と神学)(2)
	預言者特講(2) または、 預言者特講Ⅰ(預言者の使信)(2) 預言者特講Ⅱ(預言者と現代)(2)	聖書ギリシア語原典研究Ⅰ(物語文学の講読)(2) 聖書ギリシア語原典研究Ⅱ(書簡文学の講読)(2)
	聖書ヒブル語原典研究Ⅰ(物語テキストの講読)(2) 聖書ヒブル語原典研究Ⅱ(韻文テキストの講読)(2)	聖書神学研究ゼミナールⅢ(2) または、 新約聖書演習Ⅰ(共観福音書の釈義演習)(2) 聖書神学研究ゼミナールⅣ または、 新約聖書演習Ⅱ(ヨハネ文書の釈義演習)(2)
	聖書神学研究ゼミナールⅠ(古代イスラエル史)(2) または、 旧約聖書演習Ⅰ(古代イスラエル史)(2) 聖書神学研究ゼミナールⅡ(旧約聖書原典批判)(2) または、 旧約聖書演習Ⅱ(旧約聖書原典批判)(2)	
自由選択(8)		
論文研究(6)		

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	備考
MTTH7031	春	入信の秘跡	THE703	2	具 正 謨	隔年開講
MTTH7071	春	基礎神学 I	THE707	2	川 中 仁	隔年開講
MTTH7091	春	恩恵論	THE709	2	光 延 一 郎	隔年開講
MTTH7161	春	東方キリスト教学	THE716	2	*中 西 裕 一	
MTTH7532	春	キリスト教教育ゼミナール II	THE753	2	(他)高 山 貞 美	隔年開講, 旧「宗教思想史演習」
MTTH7452	春	キリスト教教育 I	THE745	2	(他)武 田 なほみ	隔年開講, 旧「キリスト教教育」
MTTH7472	春	宗教倫理思想 II	THE747	2	HAIDAR Juan	隔年開講, 旧「現代ユダヤ教思想」
MTTH7291	春	平和学特講	THE729	2	小 山 英 之	隔年開講
MTTH7751	春	キリスト教音楽美学研究 I	THE775	2	森 裕 子	
MTTH7755	春	宣教学特講 I	THE779	2	原 敬 子	
MTTH7171	春	教理史 I	THE717	2	増 田 祐 志	隔年開講
MTTH7582	春	詩編と知恵特講	THE758	2	佐久間 勤	隔年開講, 旧「詩編と知恵特講 I (釈義)」
MTTH7251	春	倫理神学特講 II (いのちと性)	THE725	2	竹 内 修 一	隔年開講
MTTH7622	春	パウロ特講	THE762	2	*朴 憲 郁	旧「パウロ特講 I (伝記的・歴史的考察)」
MTTH7301	春	教会法 I (秘跡法の入門と実践)	THE730	2	*菅 原 裕 二	隔年開講, 集中講義
MTTH7311	春	教会法 II (教会生活における法規と運用)	THE731	2	*菅 原 裕 二	隔年開講, 集中講義
MTTH7361	春	典礼神学特講 I (実践基礎論)	THE736	2	*石 井 祥 裕	隔年開講
MTTH7741	春	現代司牧の諸問題 I (現代のカテキズム)	THE774	2	*阿 部 仲麻呂	隔年開講
MTTH7011	春	キリスト論特講 (キリスト論と三位一体論)	THE701	2	川 中 仁	
MTTH7021	春	教会論特講	THE702	2	増 田 祐 志	
MTTH7482	秋	キリスト教教育ゼミナール I	THE748	2	瀬 本 正 之	隔年開講 旧「人間教育とキリスト教特講」
MTTH7522	秋	キリスト教文学特講 II	THE752	2	片 山 はるひ	隔年開講, 旧「キリスト教文学演習」
MTTH7702	秋	聖書神学研究ゼミナール I (古代イスラエル史)	THE770	2	月 本 昭 男	隔年開講 旧「旧約聖書演習 I (古代イスラエル史)」
MTTH7141	秋	教父学	THE781	2	*手 塚 奈々子	旧「教父たちの思想特講」毎年開講
MTTH7211	秋	現代カトリック教義学 I	THE721	2	光 延 一 郎	隔年開講
MTTH7231	秋	キリスト教ラテン語原典研究	THE723	2	*平 林 冬 樹	
MTTH7121	秋	エキュメニズム II	THE712	2	(他)山 岡 三 治	隔年開講
MTTH7752	秋	キリスト教音楽美学研究 II	THE776	2	森 裕 子	
MTTH7632	秋	新約文献特講	THE763	2	山 中 大 樹	隔年開講 旧「新約文献特講 I (新約釈義の諸方法)」
MTTH7261	秋	倫理神学特講 III (聖書と霊性)	THE726	2	竹 内 修 一	隔年開講
MTTH7756	秋	宣教学特講 II	THE780	2	原 敬 子	
MTTH7281	秋	社会倫理特講	THE728	2	AUGUSTINE Sali	隔年開講
MTTH7351	秋	典礼神学 II	THE735	2	具 正 謨	隔年開講
MTTH7381	秋	現代の霊性 I (祈りの現代的意義)	THE738	2	*小 暮 康 久	隔年開講, 集中講義
MTTH7753	秋	典礼と霊性 I	THE777	2	FIRMANSYAH Antonius	隔年開講
	秋	Conscience, Catholicism and Politics		2	DeCosse, David E	海外招聘客員教員科目, 英語による授業
MTTH9010	秋	修士論文	THE899	0	神学専攻各指導教員	M 2 対象
MTTH7241	休	倫理神学特講 I (良心と自然法)	THE724	2	竹 内 修 一	隔年開講

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MTTH7732	休	聖書神学研究ゼミナールⅣ	THE773	2	山 中 大 樹	隔年開講, 旧「新約聖書演習Ⅱ(ヨハネ文書の釈義演習)」
MTTH7041	休講	聖餐の秘跡	THE704	2	具 正 謨	隔年開講
MTTH7051	休講	ゆるしと叙階の秘跡	THE705	2	(他)山 岡 三 治	隔年開講
MTTH7061	休講	結婚の秘跡	THE706	2	*菅 原 裕 二	隔年開講, 集中講義
MTTH7081	休講	基礎神学Ⅱ	THE708	2	川 中 仁	隔年開講
MTTH7101	休講	マリア論	THE710	2	光 延 一 郎	隔年開講
MTTH7111	休講	エキュメニズムⅠ	THE711	2	(他)山 岡 三 治	隔年開講
MTTH7131	休講	日本キリスト教史	THE713	2	(他)川 村 信 三	隔年開講
MTTH7181	休講	教理史Ⅱ	THE718	2	増 田 祐 志	隔年開講
MTTH7221	休講	現代カトリック教義学Ⅱ	THE722	2	光 延 一 郎	隔年開講
MTTH7542	休講	キリスト教教育ゼミナールⅢ	THE754	2	HAIDAR Juan	隔年開講 旧「現代ユダヤ教思想演習」
MTTH7502	休講	キリスト教教育ゼミナールⅣ	THE750	2	小 山 英 之	隔年開講, 旧「平和学演習」
MTTH7642	休講	宗教倫理思想Ⅰ	THE764	2	(他)高 山 貞 美	隔年開講, 旧「宗教思想史」
MTTH7453	休講	キリスト教教育Ⅱ	THE746	2	瀬 本 正 之	隔年開講 旧「人間教育とキリスト教演習」
MTTH7432	休講	キリスト教文学特講Ⅰ	THE743	2	片 山 はるひ	隔年開講 旧「キリスト教文学特講」
MTTH7492	休講	社会正義論	THE749	2	AUGUSTINE Sali	隔年開講, 旧「社会倫理演習」
MTTH7712	休講	聖書神学研究ゼミナールⅡ (旧約聖書原典批判)	THE771	2	佐久間 勤	隔年開講 旧「旧約聖書演習Ⅱ(旧約聖書原典批判)」
MTTH7722	休講	聖書神学研究ゼミナールⅢ	THE772	2	山 中 大 樹	隔年開講 旧「新約聖書演習Ⅰ(共観福音書の釈義演習)」
MTTH7602	休講	預言者特講	THE760	2	月 本 昭 男	隔年開講 旧「預言者特講Ⅰ(預言者の使信)」
MTTH7271	休講	倫理神学特講Ⅳ(徳と人格)	THE727	2	竹 内 修 一	隔年開講
MTTH7341	休講	典礼神学Ⅰ	THE734	2	具 正 謨	隔年開講
MTTH7391	休講	現代の霊性Ⅱ(キリスト教的 霊性の現代的展開)	THE739	2	未 定	隔年開講
MTTH7441	休講	パストラル・ケア特講	THE744	2	(他)武 田 なほみ	隔年開講
MTTH7562	休講	モーセ五書特講	THE756	2	佐久間 勤	隔年開講, 旧「モーセ五書特講Ⅰ(釈義)」
MTTH7321	休講	ゆるしの秘跡の司牧	THE732	2	*菅 原 裕 二	隔年開講, 集中講義
MTTH7371	休講	典礼神学特講Ⅱ(原典研究)	THE737	2	*石 井 祥 裕	隔年開講
MTTH7754	休講	典礼と霊性Ⅱ	THE778	2	FIRMANSYAH Antonius	隔年開講
MTTH7421	休講	現代司牧の諸問題Ⅱ(日本における カトリック教会司牧とその使命)	THE742	2	*阿 部 仲麻呂	隔年開講

5. 研究指導一覧表

2011年次生以降対象科目であることに注意すること。

科目名	開講期	登録 コード	ナンバ リング	開講期	登録 コード	ナンバ リング	担当教員名	備考
研究指導	春	MTTH1013	THE888	休講	MTTH1033	THE888	佐久間 勤	
	春	MTTH1016	THE888	秋	MTTH1036	THE888	光延 一郎	
	春	MTTH1017	THE888	秋	MTTH1037	THE888	瀬本 正之	
	春	MTTH1018	THE888	秋	MTTH1038	THE888	片山 はるひ	
	春	MTTH1019	THE888	秋	MTTH1039	THE888	竹内 修一	
	春	MTTH1020	THE888	秋	MTTH1040	THE888	具 正 謨	
	春	MTTH1021	THE888	秋	MTTH1041	THE888	増田 祐志	
	春	MTTH1022	THE888	秋	MTTH1042	THE888	HAI DAR Juan	
	春	MTTH1025	THE888	秋	MTTH1045	THE888	川中 仁	
	春	MTTH1026	THE888	秋	MTTH1046	THE888	小山 英之	
春	MTTH1028	THE888	秋	MTTH1048	THE888	森 裕子		

組織神学専攻 博士後期課程

【11年次生以降】

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
▶選択科目			
研究指導 (必修)			単位なし, 毎学期, 履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【10年次生以前】

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
▶選択科目			
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

自立した研究者として, 当該分野・領域における独創的研究をとおして, カトリックの世界に止まらず, 広く一般世界にも貢献できる能力が認められること。

- 1) 問題設定: 問題意識が明確で, 課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解: 先行研究を適切に理解・検討・吟味していること。
- 3) 研究方法: 研究目的に対して, 研究計画・研究方法・分析・展開・統合が適切であること。
- 4) 論文構成: 論文構成が的確で, 論理展開に整合性・一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ: 当該分野・領域において, 学術的・教会的・社会的な意義が適切に認められること。
- 6) 独創的: 全体を通して, 学術的独創性が認められること。
- 7) 形式面: 以下の形式面が整っていること。
 - ① 序論, 本論(章・節), 結論にわたって, 構成が適切であり, 目次によって全体の論旨・展開が概観できること。
 - ② 文章が明快で, 論旨が明晰判明に理解可能であること。
 - ③ 引用の方法・内容が適切で, 引用文献表が簡潔に整えられていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<組織神学研究>			
組織神学研究 I			2
組織神学研究 II			2
組織神学研究 III			2
組織神学研究 IV			2
<聖書学研究>			
旧約聖書研究 I			2
旧約聖書研究 II			2
新約聖書研究 I			2
新約聖書研究 II			2
<実践神学研究>			
倫理神学研究 I			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
倫理神学研究 II			2
実践神学研究 I			2
実践神学研究 II			2
霊性神学研究 I			2
霊性神学研究 II			2
<キリスト教文化研究>			
教会史研究 I			2
教会史研究 II			2
キリスト教思想研究 I			2
キリスト教思想研究 II			2
キリスト教人間学研究 I			2
キリスト教人間学研究 II			2

3. 履修上の注意

- 入学後一ヶ月以内に、学位（博士）論文のテーマと研究指導者を研究科事務室にて登録する。
- 修了要件は、(a)研究指導および(b)教育訓練からなる。また、博士論文の執筆条件として、(c)博士論文執筆資格試験（コンプリヘンシヴ）の合格が前提となる。
 - 研究指導は、上記開講科目および前期課程開講科目の受講、博士論文作成の指導を受けることによって行われる。さらに、学会での研究発表（学会誌等論文掲載を含む）が義務づけられる。
 - 教育訓練は、研究科教員の講義・演習科目において授業指導を行うことによって充当される。その際、同訓練は、研究指導者ないし研究科委員長が適当と認める方法によって行われる。
 - 博士論文執筆資格試験は、適当な時期に公開口述試験の形で行われる。同試験は、①組織神学全般に関する総合的な試問、および②博士論文のテーマに関わる研究分野の専門的知識を問う試問からなる。そのために、①には「選択書籍表」、②には「論文の計画素案（proposal）」の事前提出が求められる。本試験に合格した時点で、学位（博士）論文のテーマがリザーブされ、博士論文の執筆が承認される。
なお、上記の①もしくは②の公開口述試験に二度不合格となった場合は、上智大学大学院学則第29条(3)によって中途退学となる。
- 博士課程修了、満期退学等には、上記の修了要件を満たす必要がある。
- 上記の修了要件は、2006年度以降の後期課程進学者・編入学者に適用される。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他): 他専攻教員 *: 非常勤教員	備考
DTTH7210	春	組織神学研究Ⅰ	THE921	2	光延一郎	
DTTH7230	春	組織神学研究Ⅲ	THE923	2	増田祐志	
DTTH7250	春	旧約聖書研究Ⅰ	THE925	2	月本昭男	
DTTH7270	春	新約聖書研究Ⅰ	THE927	2	川中仁	
DTTH7290	春	倫理神学研究Ⅰ	THE929	2	竹内修一	
DTTH7310	春	実践神学研究Ⅰ	THE931	2	具正謨	
DTTH7330	春	霊性神学研究Ⅰ	THE933	2	(他)山岡三治	
DTTH7350	休講	教会史研究Ⅰ	THE935	2	(他)川村信三	
DTTH7370	春	キリスト教思想研究Ⅰ	THE937	2	HAIDAR Juan	
DTTH7390	春	キリスト教人間学研究Ⅰ	THE939	2	片山はるひ	
DTTH7220	秋	組織神学研究Ⅱ	THE922	2	光延一郎	
DTTH7240	秋	組織神学研究Ⅳ	THE924	2	増田祐志	
DTTH7260	休講	旧約聖書研究Ⅱ	THE926	2	佐久間勤	
DTTH7280	秋	新約聖書研究Ⅱ	THE928	2	川中仁	
DTTH7300	秋	倫理神学研究Ⅱ	THE930	2	竹内修一	
DTTH7320	秋	実践神学研究Ⅱ	THE932	2	具正謨	
DTTH7340	秋	霊性神学研究Ⅱ	THE934	2	(他)山岡三治	
DTTH7360	休講	教会史研究Ⅱ	THE936	2	(他)川村信三	
DTTH7380	秋	キリスト教思想研究Ⅱ	THE938	2	HAIDAR Juan	
DTTH7400	秋	キリスト教人間学研究Ⅱ	THE940	2	片山はるひ	

※ 曜日および時限については受講生と相談の上、決定する。

5. 研究指導一覧表

2011年次生以降対象科目であることに注意すること。

科目名	開講期	登録 コード	ナンバ リング	開講期	登録 コード	ナンバ リング	担当教員名	備考
研究指導	春	DTTH3011	THE988	休講	DTTH3031	THE988	佐久間 勤	
	春	DTTH3014	THE988	秋	DTTH3034	THE988	光延 一郎	
	春	DTTH3047	THE988	秋	DTTH3050	THE988	瀬本 正之	
	春	DTTH3015	THE988	秋	DTTH3035	THE988	片山 はるひ	
	春	DTTH3016	THE988	秋	DTTH3036	THE988	竹内 修一	
	春	DTTH3017	THE988	秋	DTTH3037	THE988	具 正 謨	
	春	DTTH3018	THE988	秋	DTTH3038	THE988	増田 祐志	
	春	DTTH3019	THE988	秋	DTTH3039	THE988	HAIDAR Juan	
	春	DTTH3022	THE988	秋	DTTH3042	THE988	川中 仁	
	春	DTTH3023	THE988	秋	DTTH3043	THE988	小山 英之	
	春	DTTH3025	THE988	秋	DTTH3051	THE988	森 裕子	

哲学研究科

1. 哲学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

古代から中世を経て現代へ至る西洋哲学の伝統を研究する。また芸術・文化・宗教のあり方を根本から考え、現代社会が直面する多様な倫理的問題に対して、原理的な仕方掘り下げる。

前期課程では、原典テキストの読解を中心に思想史研究の基本を学ぶ。後期課程は主として専門研究者の育成を目標とする。

2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

哲学専攻

【博士前期課程】

本課程は、哲学専修コースおよび現代思想コースの2つのコースを設置しています。哲学専修コースでは、古代から中世を経て近代へ至る西洋哲学の長い歴史をふまえて、科学、芸術、文化、宗教のあり方を根本から考えるとともに、哲学の文献研究の基礎を学びます。現代思想コースでは、現代的な視座から哲学の根本問題を考察し、環境、生命、医療など現代社会が直面する多様な倫理的問題をとりあげます。

【博士後期課程】

本課程では、高度な専門的研究者の養成、すなわち、大学や短大などでの哲学教育の担当者のみならず、国際的な場においても活躍できるような哲学研究者の養成をめざします。

3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

哲学専攻

【博士前期課程】

本課程では、所定の科目を履修し、指導教員のもとで、修士論文のテーマを決め、研究指導により特別な指導を受け、論文の審査に合格した学生に修士（哲学）の学位を授与します。

【博士後期課程】

本課程では、以下の要件を満たしたうえで、博士論文が正式に受理され、審査に合格した学生に博士（哲学）の学位を授与します。

1. 本課程において、研究指導教員に1年間以上にわたり研究指導を受けたのちに研究企画書を研究科委員会に提出し、博士論文提出に関してあらかじめ研究科委員会の承認を得ていること。
2. 研究発表：上智大学哲学会での研究発表・全国規模の専門学会での複数の研究発表。
3. 刊行論文：3点以上の刊行論文。

哲学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【15年次生 哲学専修コース（Aコース）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学総合演習 A	2		
└ 哲学総合演習 B	2		
▶ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから10単位を選ぶ
▶ 選択科目	16		
└ 自専攻科目			
└ 委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし, 毎学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【15年次生 現代思想コース（Bコース）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学総合演習 A	2		
└ 哲学総合演習 B	2		
▶ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから4単位 研究科目群のなかから6単位を選ぶ
▶ 選択科目	16		
└ 自専攻科目			
└ 委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし, 毎学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【14年次生以前 哲学専修コース（Aコース）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学総合演習	4		
▶ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから10単位を選ぶ
▶ 選択科目	16		
└ 自専攻科目			
└ 委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，每学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および口述試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【14年次生以前 現代思想コース（Bコース）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学総合演習	4		
▶ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから4単位 研究科目群のなかから6単位を選ぶ
▶ 選択科目	16		
└ 自専攻科目			
└ 委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，每学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および口述試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

- 1) 問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で，妥当な問題を設定していること。
- 2) 研究方法：文献研究の場合，原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
- 3) 論文構成：論文全体の構成，論旨の展開が明確で，説得力がある文章で書かれていること。
- 4) 研究の位置づけ：研究史に鑑み，自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
- 5) 独創性：哲学研究への何らかの積極的な貢献を果たす意義を持っていること。
- 6) 論文の形式：論文としての十分な紙幅，註や参考文献の適切な指示がなされていること。
- 7) 研究の倫理：資料の改竄，剽窃，盗作などが一切ないこと。
- 8) 指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。

2. 授業科目の編成・単位

哲学専修コース（Aコース）・現代思想コース（Bコース）

科目名	単位数				
	必修	Aコース		Bコース	
		選必	選択	選必	選択
<文献研究科目群>					
古代哲学文献研究ⅠA		2		2	
古代哲学文献研究Ⅱ		2		2	
中世哲学文献研究ⅠA		2		2	
中世哲学文献研究ⅠB		2		2	
中世哲学文献研究Ⅲ		2		2	
近代哲学文献研究ⅠA		2		2	
近代哲学文献研究ⅠB		2		2	
近代哲学文献研究ⅡA		2		2	
近代哲学文献研究Ⅲ		2		2	
近代哲学文献研究ⅣB		2		2	

科目名	単位数				
	必修	Aコース		Bコース	
		選必	選択	選必	選択
<研究科目群>					
現代哲学研究ⅠA			2	2	
現代哲学研究ⅠB			2	2	
現代倫理学研究ⅡA			2	2	
現代倫理学研究ⅡB			2	2	
美学芸術学研究Ⅰ			2	2	
美学芸術学研究Ⅱ			2	2	
日本思想研究			2	2	
東洋思想研究			2	2	
宗教思想研究			2		2
哲学総合演習A ※注1	2				
哲学総合演習B ※注1	2				

哲学専修コース（Aコース）の選択必修は

<文献研究科目群>より10単位

現代思想コース（Bコース）の選択必修は

<文献研究科目群>より4単位

<研究科目群>より6単位

それ以上の単位は選択科目として扱う

※注1：哲学総合演習（4単位）は2015年度よりA（春学期2単位）、B（秋学期2単位）に分割された。

3. 履修上の注意

- 1) 前期課程において必要な履修単位は30単位とする。
- 2) 「研究指導(必修)」を、毎学期履修すること。
- 3) 前期課程の学生は入学後一年以内に、修士論文のテーマと希望する指導教員名を専攻主任に申しなければならない。委員会はそれを考慮して指導教員を指定する。
- 4) 前期課程において学生の研究上必要と認められるときは、協定他大学および本学の他の研究科の開講科目を履修させ、これを委員会が計8単位まで必要単位として認定する。
- 5) 哲学総合演習AB（合計4単位）は前期課程1年次生用の必修である。それ以外に2年次以降、継続して履修を希望する場合は、選択科目として扱う。

4. 開講科目一覧表

文学研究科哲学専攻（p. 72）の開講科目一覧を参照すること。

なお、文学研究科哲学専攻の設置に伴い、科目名が変更となっているものの対応については、以下の表による。対応する科目は同一科目とみなす。

2015年度以前の開講科目	2106年度の開講科目
古代哲学文献研究 I A	古代哲学文献研究 I
中世哲学文献研究 I A	中世哲学文献研究 I
中世哲学文献研究 I B	中世哲学文献研究 II
近代哲学文献研究 I A	近代哲学文献研究 I
近代哲学文献研究 I B	近代哲学文献研究 II
近代哲学文献研究 II A	近代哲学文献研究 III
近代哲学文献研究 III	近代哲学文献研究 IV
近代哲学文献研究 IV B	近代哲学文献研究 V
現代哲学研究 I A	現代哲学研究 I
現代哲学研究 I B	現代哲学研究 II
現代倫理学研究 II A	現代倫理学研究 I
現代倫理学研究 II B	現代倫理学研究 II

5. 研究指導一覧表

文学研究科哲学専攻（p. 72）の研究指導一覧を参照すること。

1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【15年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	20		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学特殊研究A	2		
└ 哲学特殊研究B	2		
▶ 選択科目	16		
研究指導（必修）			単位なし，毎学期履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【11～14年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	20		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学特殊研究	4		
▶ 選択科目	16		
研究指導（必修）			単位なし，每学期履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【08～09年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	20		
▶ 必修科目	2		
└ 哲学特殊研究	2		
▶ 選択科目	18		
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

- 1) 問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で，妥当な問題を設定していること。
- 2) 研究方法：文献研究の場合，原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
- 3) 論文構成：論文全体の構成，論旨の展開が明確で，説得力がある文章で書かれていること。
- 4) 研究の位置づけ：研究史に鑑み，自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
- 5) 独創性：従来の研究にない独自の貢献を付け加える意義を持っていること。
- 6) 論文の形式：論文としての十分な紙幅，註や参考文献の適切な指示がなされていること。
- 7) 研究の倫理：資料の改竄，剽窃，盗作などが一切ないこと。
- 8) 指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。
- 9) 学会発表：論文を書くにあたって，それを構成する部分が，複数の専門学会での口頭発表，投稿論文などによる研究成果をふまえていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
古代哲学文献研究ⅠA			2
古代哲学文献研究Ⅱ			2
中世哲学文献研究ⅠA			2
中世哲学文献研究ⅠB			2
中世哲学文献研究ⅡA			2
近代哲学文献研究ⅠA			2
近代哲学文献研究ⅠB			2
近代哲学文献研究ⅡA			2
近代哲学文献研究Ⅲ			2
近代哲学文献研究ⅣB			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
現代哲学研究ⅠA			2
現代哲学研究ⅠB			2
現代倫理学研究ⅡA			2
現代倫理学研究ⅡB			2
美学芸術学研究Ⅰ			2
美学芸術学研究Ⅱ			2
日本思想研究			2
東洋思想研究			2
哲学特殊研究A ※注1	2		
哲学特殊研究B ※注1	2		

※注1：哲学特殊研究は2010年度より2単位から4単位へ変更となった。2015年度よりA（春学期2単位）B（秋学期2単位）に分割された。

3. 履修上の注意

- 1) 後期課程において必要な履修単位数は20単位とする。
- 2) 11年次生以降は、「研究指導（必修）」を、毎学期履修すること。
- 3) 後期課程の学生は入学当初に、研究テーマと希望する指導教員名を専攻主任に申しなければならない。委員会はそれを考慮して指導教員を指定する。
- 4) 後期課程の学生は毎週指導教員の授業に出席し、その指示に従って研究し、研究状況を指導教員に報告し、その成果を毎年発表しなくてはならない。
- 5) 後期課程に入学した学生で、前期課程必修科目の「哲学総合演習」を未履修者は、指導教員と専攻主任の許可を受けた上で、この科目4単位を後期課程の選択科目として履修し、必要単位数に充当することができる。
- 6) 後期課程において学生は研究の必要上、協定他大学および本学の他の研究科の授業を履修することはできるが、それによって必要単位数に充当することはできない。
- 7) 2009年度以前入学の学生は「哲学特殊研究」2単位必修。2010年以降入学の学生は4単位必修。2015年度以降入学の学生は「哲学特殊研究A」2単位「哲学特殊研究B」2単位の合計4単位必修。それ以外に2年次以降、継続して履修を希望する場合は、この両科目とも選択科目として扱う。

4. 開講科目一覧表

文学研究科哲学専攻（p.74）の開講科目一覧を参照すること。

なお、文学研究科哲学専攻の設置に伴い、科目名が変更となっているものの対応については、以下の表による。対応する科目は同一科目とみなす。

2015年度以前の開講科目	2106年度の開講科目
古代哲学文献研究ⅠA	哲学特殊研究・古代Ⅰ
古代哲学文献研究Ⅱ	哲学特殊研究・古代Ⅱ
中世哲学文献研究ⅠA	哲学特殊研究・中世Ⅰ
中世哲学文献研究ⅠB	哲学特殊研究・中世Ⅱ
中世哲学文献研究ⅡA	哲学特殊研究・中世Ⅲ
近代哲学文献研究ⅠA （旧）近世哲学文献研究ⅠA	哲学特殊研究・近代Ⅰ
近代哲学文献研究ⅠB （旧）近世哲学文献研究ⅠB	哲学特殊研究・近代Ⅱ
近代哲学文献研究ⅡA	哲学特殊研究・近代Ⅲ
近代哲学文献研究Ⅲ （旧）近世哲学文献研究ⅢA	哲学特殊研究・近代Ⅳ
近代哲学文献研究ⅣB	哲学特殊研究・近代Ⅴ
現代哲学研究ⅠA （旧）現代哲学文献研究ⅡA	哲学特殊研究・現代Ⅰ
現代哲学研究ⅠB （旧）現代哲学文献研究ⅡB	哲学特殊研究・現代Ⅱ
現代倫理学研究ⅡA （旧）倫理学特殊問題Ⅲ	哲学特殊研究・現代倫理学Ⅰ
現代倫理学研究ⅡB （旧）倫理学特殊問題Ⅳ	哲学特殊研究・現代倫理学Ⅱ
美学芸術学研究Ⅰ （旧）美学芸術学Ⅰ	哲学特殊研究・美学芸術学Ⅰ
美学芸術学研究Ⅱ （旧）美学芸術学Ⅱ	哲学特殊研究・美学芸術学Ⅱ
日本思想研究 （旧）日本思想文献研究	哲学特殊研究・日本思想
東洋思想研究 （旧）東洋思想文献研究	哲学特殊研究・東洋思想

※2015年以前の開講科目の表中、（旧）がつく科目名は、2009年次生以前が対象となる。

5. 研究指導一覧表

文学研究科哲学専攻（p.75）の研究指導一覧を参照すること。

文学研究科

哲学専攻

史学専攻

国文学専攻

英米文学専攻

ドイツ文学専攻

フランス文学専攻

新聞学専攻

文化交渉学専攻

1. 文学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

幅広い教養と柔軟な思考力を持ち、世界と未来に開かれた新しい知を創造する力を伸ばすために、文化の総体の探究、現代社会との連結、語学能力の重視に重点を置いた実践教育を行い、社会、文化の発展に貢献しうる人材を養成する。

前期課程では、研究者の養成を目指すとともに、高度な専門知識によって職業的能力を向上させる。後期課程では、国際的な水準で広く活躍し、将来、各々の分野で研究・教育に携わる人材の育成を期する。

2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

哲学専攻

【博士前期課程】

本課程は、哲学専修コースおよび現代思想コースの2つのコースを設置しています。哲学専修コースでは、古代から中世を経て近代へ至る西洋哲学の長い歴史をふまえて、科学、芸術、文化、宗教のあり方を根本から考えるとともに、哲学の文献研究の基礎を学びます。現代思想コースでは、現代的な視座から哲学の根本問題を考察し、環境、生命、医療など現代社会が直面する多様な倫理的問題をとりあげます。

【博士後期課程】

本課程では、高度な専門的研究者の養成、すなわち、大学や短大などでの哲学教育の担当者のみならず、国際的な場においても活躍できるような哲学研究者の養成をめざします。

史学専攻

【博士前期課程】

歴史学の領域で幅広くかつ深い知識を究め、鋭い分析・批判能力を培うため、「特研」科目を設置しています。また、優れた修士論文を作成するため、「演習」、「修士論文演習」を開講しています。

指導教員の承認を得た上で、他専攻の科目を一定の条件のもとで履修することができます。

上記のほか、指導教員の承認を得たうえで、協定を結んだ他大学大学院の科目を一定の条件のもとで履修することができます。

【博士後期課程】

優れた博士論文を作成するため、「博士論文演習」科目を開講しています。

国文学専攻

日本文化研究の中核を担うために、古典学を教育・研究の根幹に置き、日本語・日本文学を細分化して考究するのではなく、古典文学・近代文学、国語学、漢文学の三分野を有機的に連関させて総合的に追及することを重視し、そのための教員組織・カリキュラムを編成し、きめこまかな指導をおこないます。

【博士前期課程】

古典文学・近代文学においては、上代・中古・中世・近世・近代と各時代別のカリキュラム編成をおこない、国語学、漢文学には分野ごとに複数の講座を設け、緊密な教育体制をとり、世界から見た日本文学の講座も開講して国際的な視点を導入しています。

【博士後期課程】

個別的な指導をするだけでなく、古典文学・近代文学、国語学、漢文学のより高度で専門的な研究能力の育成をめざしたカリキュラムを編成しています。

英米文学専攻

英米文学と英語学の領域で広く、かつ深い知識を得るとともに、分析能力と批評能力を身につけ、さらにそれを論文として発表するための技術を養います。

【博士前期課程】

本課程 1 年次生は、特別講義・演習を履修しますが、その際、「文学研究法Ⅰ」（日本語）と「文学研究法Ⅱ」（英語）を必ず履修し、基礎力を養います。また、アドバイザーによる研究指導のもと、専門分野の研究を深めていきます。

2 年次生は、特別講義・演習を履修するとともに、修士論文メンターとなる指導教員による研究指導を受け、修士論文を提出します。

【博士後期課程】

本課程の学生は、指導教授による研究指導を受けるとともに、3 年間で指導教授を含む 3 人の教員によるリーディング・コースを履修し、修了論文に向けて幅広く研究をおこないます。

ドイツ文学専攻

本専攻は「教育研究上の目的及び人材養成の目的」にもとづき、ドイツ語圏文学をヨーロッパの歴史的、文化的文脈の中で研究することをめざして、以下のカリキュラム・ポリシーを定めています。

【博士前期課程】

1. 研究の基礎となるドイツ語文献の読解力を向上させること。
2. 文学のみならず、文学と芸術、思想との関わりについて研究すること。
3. 修士論文作成に必要な論文作成の基本に習熟すること。

【博士後期課程】

1. 修士論文作成によって身に付けた研究方法をもとに、高度な専門研究をおこなうこと。
2. 文学および文学研究の歴史性への認識を深めるために、研究史を研究すること。
3. 博士論文作成に向けて、原典・参考文献の分析的読解、論文作成の要諦などを教授すること。

フランス文学専攻

本専攻は「教育研究上の目的・人材養成の目的」に則り、フランスおよびフランス語圏の文学・芸術の研究に関して、方法論を深化させ、多様な興味・関心を育みうるような教育をめざして、次のようなカリキュラム・ポリシーを定めます。

【博士前期課程】

1. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関して、研究方法の習得・深化に役立つ専門的教育をおこなうこと。
2. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関して、多様な興味・関心を喚起しうる専門的教育をおこなうこと。
3. 高度なフランス語運用能力を養成するための実践的な語学的訓練をおこなうこと。
4. 修士論文作成のために、テーマの掘り下げ、プランの策定、論述の整備など、きめ細かい指導をおこなうこと。

【博士後期課程】

1. 博士論文作成のために、テーマの掘り下げ、プランの策定、論述の整備など、きめ細かい指導をおこなうこと。
2. 研究者としての国際的な活動に道を開くための手助けをすること。

新聞学専攻

【博士前期課程】

1. マス・コミュニケーション理論、ジャーナリズム論、メディア分析を中心に据えたカリキュラムを設置し、その上で、今日の問題状況に柔軟に対応して研究を進めるために演習を配置しています。
2. 2年次は修士論文を完成させるために、指導教員の指導のもと、各自の研究を推進させる体制を整えています。また、大学院の社会学分野単位相互互換制度により国公私立 24 大学（26 大学院研究科）の科目を履修することができます。

【博士後期課程】

1. 国際的な水準で広く活躍し、将采、この分野で研究・教育に携わる人材の育成を目標としています。研究活動においては学問的方法論、専門知識の水準を向上させると同時に、研究者として自己のテーマ領域を打ち立てられるように指導します。
2. 学位申請の論文については、入学後 1 年を経て論文提出資格を得る試験に合格した者が執筆を許可されます。在学期間内に課程を修了することができるように指導します。

文化交渉学専攻

本専攻は「教育研究上の目的及び人材養成の目的」にもとづき、さまざまな文化同士の交渉過程を跡づけるとともに、新たな文化が生み出される契機を詳しく研究することを目指して、次のようなカリキュラム・ポリシーを定めています。

【博士前期課程】

1. 異文化研究の手続き、文化交渉学の基本理念などを検討すること。
2. 文化交渉学の重要な分野として、翻訳文化、文学と芸術の関わりを研究すること。
3. 修士論文作成をめざして、研究、論文作成の基本に習熟すること

【博士後期課程】

1. 前期課程で積み上げた基礎知識をもとに、さらに高度な研究をおこなうこと。
2. 文化創造の基盤となる資料の取り扱いに習熟することをめざすこと。
博士論文作成に向けて、資料の読解、テーマの深化、論文作成の要諦などを教授すること。

3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

哲学専攻

【博士前期課程】

本課程では、所定の科目を履修し、指導教員のもとで、修士論文のテーマを決め、研究指導により特別な指導を受け、論文の審査に合格した学生に修士（哲学）の学位を授与します。

【博士後期課程】

本課程では、以下の要件を満たしたうえで、博士論文が正式に受理され、審査に合格した学生に博士（哲学）の学位を授与します。

1. 本課程において、研究指導教員に1年間以上にわたり研究指導を受けたのちに研究企画書を研究科委員会に提出し、博士論文提出に関してあらかじめ研究科委員会の承認を得ていること。
2. 研究発表：上智大学哲学会での研究発表・全国規模の専門学会での複数の研究発表。
3. 刊行論文：3点以上の刊行論文。

史学専攻

【博士前期課程】

本課程に2年（4学期）以上在籍して所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けたうえで、修士論文を提出して、その審査に合格した者に、修士（史学）の学位を授与します。

【博士後期課程】

本課程に3年（6学期）以上在籍して所定の研究指導を受けたうえで、博士の学位請求論文を提出して、その審査に合格した者に、博士（史学）の学位を授与します。

国文学専攻

本専攻は、古典文学・近代文学、国語学、漢文学に対する高度な知識と研究能力また教育実践能力をもち、広く社会、世界に貢献しうる人材を育成することを目的としています。

【博士前期課程】

演習・講義を通じて基礎的研究能力を修得し、「国文学専攻研究計画書」にもとづく研究に取組み、専門的な研究能力を修得した人材に修士（文学）の学位を授与します。

【博士後期課程】

国文学の伝統を継承し発展させる意欲をもち、研究者として自立した研究活動をおこなうのに必要な能力を身につけた人材に博士（文学）の学位を授与します。

英米文学専攻

【博士前期課程】

英米文学・英語学の分野で大学院レベルの研究をおこなうのに必要な知識および研究方法を修得するため、特別講義・演習を履修して広く学ぶとともに、指導教員の研究指導を受けて専門分野を深めます。本課程に2年以上在学してできるだけ広い分野から計30単位を修得し、指導教員による指導のもと、修士論文を提出してその審査に合格した学生に、修士（文学）の学位を授与します。

【博士後期課程】

博士前期課程で研究したことをもとに、本課程でさらに研鑽を積んで専門分野での研究の質を高めるとともに、毎年度リーディング・コースを履修することで、専門分野以外についても広い知見を獲得します。具体的には、本課程に3年以上在学して計12単位を修得し、指導教員の研究指導のもとに修了論文を提出し、一定のレベルに達している場合に、学位申請論文を提出する資格が与えられます。その後博士論文を提出し、審査に合格した学生に博士(文学)の学位が授与されます。

ドイツ文学専攻

本専攻のカリキュラムにもとづき、十分な研鑽を積んだ上で、その成果を論文としてまとめ、以下のことを満たす学生に学位を授与します。

【博士前期課程】

1. 修士論文において、先行研究の十分な理解、適切なテーマが設定されていること。
2. 必要な原典・資料の精確な読解と精緻な分析がおこなわれていること。
3. 綿密かつ分かりやすい論文の構成、論旨の展開の仕方を修得していること。

【博士後期課程】

1. 博士論文において、先行研究を歴史的に精査・分析した上で、テーマ設定がおこなわれていること。
2. 原典・資料の精確な読解と精緻な分析がなされていること。
3. 今後の研究の出発点として、テーマを本質的に掘り下げ、幅広い視野のもとで考察できること。

フランス文学専攻

本専攻のカリキュラムを十分に消化し、優れた論文を作成しえた学生に学位を授与するものとして、次のディプロマ・ポリシーを定めています。

【博士前期課程】

1. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関する高水準の専門的研究が遂行されていること。
2. 専門的な研究を遂行しうる高度なフランス語運用能力をそなえていること。
3. フランスおよびフランス語圏の文化・芸術に関する深い教養をそなえていること。
4. さまざまな分野で職業人として活躍しうる能力・適性をそなえていること。

【博士後期課程】

1. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関して、国際的な水準で通用しうる高度な専門的研究が遂行されていること。
2. 国際的な学的交流を可能にする高度なフランス語運用能力をそなえていること。
3. フランスおよびフランス語圏文化について深い見識をそなえていること。
4. 専門的な知識やフランス語運用能力を教育の現場に生かすことのできる能力・適性をそなえていること。

新聞学専攻

本専攻は、以下の条件を満たす学生に学位を授与します。

【博士前期課程】

1. マス・コミュニケーションとジャーナリズム研究のため、幅広く専攻分野を学び、問題領域への関心を深め、洗練された自己の問題関心を有すること。
2. より高いレベルのジャーナリズム・プロフェッションとして高いメディア意識を持ち、社会に貢献できること。

【博士後期課程】

1. 研究領域における学問的方法論および高度な専門知識をもち、ジャーナリズム論、メディア論、メディア法、情報社会論などを中心に自己のテーマ領域を確立していること。
2. 国際的な視野に立った討論や分析を行う能力を持ち、国内外の学会で最先端の研究成果を発表していること。

文化交渉学専攻

本専攻のカリキュラムを十分に消化し、そのうえで優れた論文を作成し、以下の条件を満たす学生に学位を授与します。

【博士前期課程】

1. 修士論文の作成にあたって、先行研究の理解、適切なテーマを設定していること。
2. テーマ設定に基づき、必要な資料の読解、分析に習熟していること。
3. 明快な論文の作成をめざして、論文の構成、緻密な分析、論旨の整備ができること。

【博士後期課程】

1. 博士論文において、先行研究の緻密な分析に基づくテーマを設定していること。
2. 十分な準備作業をおこない、斬新かつ明快な論文を作成していること。
3. 修了後、海外でさらに研究を深めるために、幅広い考察をおこなうこと。

哲学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【16年次生 哲学専修コース（Aコース）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学総合演習 A	2		
└ 哲学総合演習 B	2		
▶ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから10単位を選ぶ
▶ 選択科目	16		
└ 自専攻科目			
└ 委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし, 每学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【16年次生 現代思想コース（Bコース）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学総合演習 A	2		
└ 哲学総合演習 B	2		
▶ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから4単位 研究科目群のなかから6単位を選ぶ
▶ 選択科目	16		
└ 自専攻科目			
└ 委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし, 每学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

- 1) 問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で, 妥当な問題を設定していること。
- 2) 研究方法：文献研究の場合, 原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
- 3) 論文構成：論文全体の構成, 論旨の展開が明確で, 説得力がある文章で書かれていること。
- 4) 研究の位置づけ：研究史に鑑み, 自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
- 5) 独創性：哲学研究への何らかの積極的な貢献を果たす意義を持っていること。
- 6) 論文の形式：論文としての十分な紙幅, 註や参考文献の適切な指示がなされていること。
- 7) 研究の倫理：資料の改竄, 剽窃, 盗作などが一切ないこと。
- 8) 指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。

2. 授業科目の編成・単位

哲学専修コース（Aコース）・現代思想コース（Bコース）

科目名	単位数				
	必修	Aコース		Bコース	
		選必	選択	選必	選択
<文献研究科目群>					
古代哲学文献研究Ⅰ		2		2	
古代哲学文献研究Ⅱ		2		2	
中世哲学文献研究Ⅰ		2		2	
中世哲学文献研究Ⅱ		2		2	
中世哲学文献研究Ⅲ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅰ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅱ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅲ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅳ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅴ		2		2	

科目名	単位数				
	必修	Aコース		Bコース	
		選必	選択	選必	選択
<研究科目群>					
現代哲学研究Ⅰ			2	2	
現代哲学研究Ⅱ			2	2	
現代倫理学研究Ⅰ			2	2	
現代倫理学研究Ⅱ			2	2	
美学芸術学研究Ⅰ			2	2	
美学芸術学研究Ⅱ			2	2	
日本思想研究			2	2	
東洋思想研究			2	2	
宗教思想研究			2		2
哲学総合演習A ※注1	2				
哲学総合演習B ※注1	2				

哲学専修コース（Aコース）の選択必修は

<文献研究科目群>より10単位

現代思想コース（Bコース）の選択必修は

<文献研究科目群>より4単位

<研究科目群>より6単位

それ以上の単位は選択科目として扱う

※注1：哲学総合演習（4単位）は2015年度よりA（春学期2単位）、B（秋学期2単位）に分割された。

3. 履修上の注意

- 1) 前期課程において必要な履修単位は30単位とする。
- 2) 「研究指導(必修)」を、毎学期履修すること。
- 3) 前期課程の学生は入学後一年以内に、修士論文のテーマと希望する指導教員名を専攻主任に申しなければならない。専攻会議はそれを考慮して指導教員を指定する。
- 4) 前期課程において学生の研究上必要と認められるときは、協定他大学および本学の他の研究科・専攻の開講科目を履修させ、これを委員会が計8単位まで必要単位として認定する。
- 5) 哲学総合演習AB（合計4単位）は前期課程1年次生用の必修である。それ以外に2年次以降、継続して履修を希望する場合は、選択科目として扱う。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MPPH7010	春	古代哲学文献研究 I	PHL710	2	荻野弘之	(旧) 古代哲学文献研究 I A
MPPH7210	春	中世哲学文献研究 I	PHL721	2	佐藤直子	(旧) 中世哲学文献研究 I A
MPPH7230	春	中世哲学文献研究 III	PHL723	2	長町裕司	
MPPH7310	春	近代哲学文献研究 I	PHL731	2	大橋容一郎	(旧) 近代哲学文献研究 I A
MPPH7330	春	近代哲学文献研究 III	PHL733	2	*佐々木能章	(旧) 近代哲学文献研究 II A
MPPH7410	春	現代哲学研究 I	PHL741	2	長町裕司	(旧) 現代哲学研究 I A
MPPH7510	春	現代倫理学研究 I	PHL751	2	寺田俊郎	(旧) 現代倫理学研究 II A
MPPH1331	春	哲学総合演習 A	PHL501	2	荻野弘之	
MPPH1332	秋	哲学総合演習 B	PHL502	2	大橋容一郎	
MPPH7020	秋	古代哲学文献研究 II	PHL711	2	荻野弘之	
MPPH7220	秋	中世哲学文献研究 II	PHL722	2	佐藤直子	(旧) 中世哲学文献研究 I B
MPPH7320	秋	近代哲学文献研究 II	PHL732	2	大橋容一郎	(旧) 近代哲学文献研究 I B
MPPH7340	秋	近代哲学文献研究 IV	PHL734	2	長町裕司	(旧) 近代哲学文献研究 III
MPPH7540	秋	美学芸術学研究 II	PHL754	2	*高橋陽一郎	
MPPH7520	秋	現代倫理学研究 II	PHL752	2	寺田俊郎	(旧) 現代倫理学研究 II B
MPPH7550	秋	日本思想研究	PHL755	2	*板橋勇仁	
MPPH7350	秋	近代哲学文献研究 V	PHL735	2	寺田俊郎	(旧) 近代哲学文献研究 IV B
MPPH7420	秋	現代哲学研究 II	PHL742	2	長町裕司	(旧) 現代哲学研究 I B
MPPH9340	秋	修士論文	PHL899	0	哲学専攻各指導教員	
MPPH7560	休講	東洋思想研究	PHL756	2	*板橋勇仁	
MPPH7530	休講	美学芸術学研究 I	PHL753	2	*高橋陽一郎	
MPPH7570	休講	宗教思想研究	PHL757	2	島 蘭 進	

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MPPH1401	春	研究指導	PHL888	荻野弘之	指導科目(11年次生以降対象)
MPPH1421	春	研究指導	PHL888	大橋容一郎	指導科目(11年次生以降対象)
MPPH1431	春	研究指導	PHL888	長町裕司	指導科目(11年次生以降対象)
MPPH1441	春	研究指導	PHL888	田中 裕	指導科目(11年次生以降対象, 16年次生は履修不可)
MPPH1451	春	研究指導	PHL888	佐藤直子	指導科目(11年次生以降対象)
MPPH1461	春	研究指導	PHL888	寺田俊郎	指導科目(11年次生以降対象)
MPPH1402	秋	研究指導	PHL888	荻野弘之	指導科目(11年次生以降対象)
MPPH1422	秋	研究指導	PHL888	大橋容一郎	指導科目(11年次生以降対象)
MPPH1432	秋	研究指導	PHL888	長町裕司	指導科目(11年次生以降対象)
MPPH1442	秋	研究指導	PHL888	田中 裕	指導科目(11年次生以降対象, 16年次生は履修不可)
MPPH1452	秋	研究指導	PHL888	佐藤直子	指導科目(11年次生以降対象)
MPPH1462	秋	研究指導	PHL888	寺田俊郎	指導科目(11年次生以降対象)

1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

【16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	20		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学特殊研究A	2		
└ 哲学特殊研究B	2		
▶ 選択科目	16		
研究指導（必修）			単位なし，毎学期履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

- 1) 問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で，妥当な問題を設定していること。
- 2) 研究方法：文献研究の場合，原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
- 3) 論文構成：論文全体の構成，論旨の展開が明確で，説得力がある文章で書かれていること。
- 4) 研究の位置づけ：研究史に鑑み，自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
- 5) 独創性：従来の研究にない独自の貢献を付け加える意義を持っていること。
- 6) 論文の形式：論文としての十分な紙幅，註や参考文献の適切な指示がなされていること。
- 7) 研究の倫理：資料の改竄，剽窃，盗作などが一切ないこと。
- 8) 指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。
- 9) 学会発表：論文を書くにあたって，それを構成する部分が，複数の専門学会での口頭発表，投稿論文などによる研究成果をふまえていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
哲学特殊研究・古代Ⅰ			2
哲学特殊研究・古代Ⅱ			2
哲学特殊研究・中世Ⅰ			2
哲学特殊研究・中世Ⅱ			2
哲学特殊研究・中世Ⅲ			2
哲学特殊研究・近代Ⅰ			2
哲学特殊研究・近代Ⅱ			2
哲学特殊研究・近代Ⅲ			2
哲学特殊研究・近代Ⅳ			2
哲学特殊研究・近代Ⅴ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
哲学特殊研究・現代Ⅰ			2
哲学特殊研究・現代Ⅱ			2
哲学特殊研究・現代倫理学Ⅰ			2
哲学特殊研究・現代倫理学Ⅱ			2
哲学特殊研究・美学芸術学Ⅰ			2
哲学特殊研究・美学芸術学Ⅱ			2
哲学特殊研究・日本思想			2
哲学特殊研究・東洋思想			2
哲学特殊研究A ※注1	2		
哲学特殊研究B ※注1	2		

※注1：哲学特殊研究は2010年度より2単位から4単位へ変更となった。2015年度よりA（春学期2単位）B（秋学期2単位）に分割された。

3. 履修上の注意

- 1) 後期課程において必要な履修単位数は20単位とする。
- 2) 11年次生以降は、「研究指導(必修)」を、毎学期履修すること。
- 3) 後期課程の学生は入学当初に、研究テーマと希望する指導教員名を専攻主任に申しなければならない。委員会はそれを考慮して指導教員を指定する。
- 4) 後期課程の学生は毎週指導教員の授業に出席し、その指示に従って研究し、研究状況を指導教員に報告し、その成果を毎年発表しなくてはならない。
- 5) 後期課程に入学した学生で、前期課程必修科目の「哲学総合演習」を未履修者は、指導教員と専攻主任の許可を受けた上で、この科目4単位を後期課程の選択科目として履修し、必要単位数に充当することができる。
- 6) 後期課程において学生は研究の必要上、協定他大学および本学の他の研究科・専攻の授業を履修することはできるが、それによって必要単位数に充当することはできない。
- 7) 2009年度以前入学の学生は「哲学特殊研究」2単位必修。2010年以降入学の学生は4単位必修。2015年度以降入学の学生は「哲学特殊研究A」2単位「哲学特殊研究B」2単位の合計4単位必修。それ以外に2年次以降、継続して履修を希望する場合は、この両科目とも選択科目として扱う。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	備考
DPPH3111	春	哲学特殊研究・古代Ⅰ	PHL911	2	荻野弘之	(旧)古代哲学文献研究ⅠA
DPPH3221	春	哲学特殊研究・中世Ⅰ	PHL921	2	佐藤直子	(旧)中世哲学文献研究ⅠA
DPPH3223	春	哲学特殊研究・中世Ⅲ	PHL923	2	長町裕司	(旧)中世哲学文献研究Ⅲ
DPPH3231	春	哲学特殊研究・近代Ⅰ	PHL931	2	大橋容一郎	(旧)近代哲学文献研究ⅠA
DPPH3233	春	哲学特殊研究・近代Ⅲ	PHL933	2	*佐々木能章	(旧)近代哲学文献研究ⅡA
DPPH3241	春	哲学特殊研究・現代Ⅰ	PHL941	2	長町裕司	(旧)現代哲学文献研究ⅡA
DPPH3251	春	哲学特殊研究・現代倫理学Ⅰ	PHL951	2	寺田俊郎	(旧)現代倫理学研究ⅡA
DPPH3021	春	哲学特殊研究A	PHL901	2	寺田俊郎	
DPPH3022	秋	哲学特殊研究B	PHL902	2	佐藤直子	
DPPH3112	秋	哲学特殊研究・古代Ⅱ	PHL912	2	荻野弘之	(旧)古代哲学文献研究Ⅱ
DPPH3222	秋	哲学特殊研究・中世Ⅱ	PHL922	2	佐藤直子	(旧)中世哲学文献研究ⅠB
DPPH3232	秋	哲学特殊研究・近代Ⅱ	PHL932	2	大橋容一郎	(旧)近代哲学文献研究ⅠB
DPPH3234	秋	哲学特殊研究・近代Ⅳ	PHL934	2	長町裕司	(旧)近代哲学文献研究Ⅲ
DPPH3235	秋	哲学特殊研究・近代Ⅴ	PHL935	2	寺田俊郎	(旧)近代哲学文献研究ⅣB
DPPH3242	秋	哲学特殊研究・現代Ⅱ	PHL942	2	長町裕司	(旧)現代哲学文献研究ⅡB
DPPH3254	秋	哲学特殊研究・美学芸術学Ⅱ	PHL954	2	*高橋陽一郎	(旧)美学芸術学研究Ⅱ
DPPH3252	秋	哲学特殊研究・現代倫理学Ⅱ	PHL952	2	寺田俊郎	(旧)現代倫理学研究ⅡB
DPPH3255	秋	哲学特殊研究・日本思想	PHL955	2	*板橋勇仁	(旧)日本思想研究
DPPH3253	休講	哲学特殊研究・美学芸術学Ⅰ	PHL953	2	*高橋陽一郎	(旧)美学芸術学研究Ⅰ
DPPH3256	休講	哲学特殊研究・東洋思想	PHL956	2	*板橋勇仁	(旧)東洋思想研究

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
DPPH3101	春	研究指導	PHL988	荻野弘之	指導科目(11年次生以降対象)
DPPH3121	春	研究指導	PHL988	大橋容一郎	指導科目(11年次生以降対象)
DPPH3131	春	研究指導	PHL988	長町裕司	指導科目(11年次生以降対象)
DPPH3141	春	研究指導	PHL988	田中裕	指導科目(11年次生以降対象, 16年次生は履修不可)
DPPH3151	春	研究指導	PHL988	佐藤直子	指導科目(11年次生以降対象)
DPPH3161	春	研究指導	PHL988	寺田俊郎	指導科目(11年次生以降対象)
DPPH3102	秋	研究指導	PHL988	荻野弘之	指導科目(11年次生以降対象)
DPPH3122	秋	研究指導	PHL988	大橋容一郎	指導科目(11年次生以降対象)
DPPH3132	秋	研究指導	PHL988	長町裕司	指導科目(11年次生以降対象)
DPPH3142	秋	研究指導	PHL988	田中裕	指導科目(11年次生以降対象, 16年次生は履修不可)
DPPH3152	秋	研究指導	PHL988	佐藤直子	指導科目(11年次生以降対象)
DPPH3162	秋	研究指導	PHL988	寺田俊郎	指導科目(11年次生以降対象)

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択必修科目	4		4単位を超えて修得した場合, その超過分は選択科目の単位数に算入される
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし, 毎学期, 履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で, テーマ設定が適切であり, 歴史研究の知識の向上に寄与していること。
- 2) 先行研究が十分に検討・吟味されており, 出典記載や引用が適切になされていること。
- 3) 史・資料に基づいた実証研究であること。
- 4) 論文構成が的確で, 論理展開に整合性と一貫性があること。
- 5) 論文の言語表現が的確であり, 目次・註・付録（図表・史料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<日本史学特殊研究>			
古代演習Ⅰ			2
古代演習Ⅱ			2
古代特研			2
中世演習Ⅰ			2
中世演習Ⅱ			2
中世特研			2
近世演習Ⅰ			2
近世演習Ⅱ			2
近世特研			2
近・現代演習Ⅰ			2
近・現代演習Ⅱ			2
近・現代特研			2
史料学研究			4
<東洋史学特殊研究>			
古代・中世演習Ⅰ			2
古代・中世演習Ⅱ			2
古代・中世特研			2
近世演習Ⅰ			2
近世演習Ⅱ			2
近世特研			2
近・現代演習Ⅰ			2
近・現代演習Ⅱ			2
近・現代特研			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<西洋史学特殊研究>			
古代演習Ⅰ			2
古代演習Ⅱ			2
古代特研			2
中世演習Ⅰ			2
中世演習Ⅱ			2
中世特研			2
近世演習Ⅰ			2
近世演習Ⅱ			2
近世特研			2
近・現代演習Ⅰ			2
近・現代演習Ⅱ			2
近・現代特研			2
(他) 聖書神学研究ゼミナールⅠ (古代イスラエル史) ※注			2
<修士論文演習>			
修士論文演習Ⅰ a		2	
修士論文演習Ⅰ b		2	
修士論文演習Ⅱ a		2	
修士論文演習Ⅱ b		2	

※注 神学研究科開講科目 (詳細はp.40参照)

3. 履修上の注意

- 1) 史学専攻の学生は、専任教員1名を指導教員として定め、所定の科目を履修するとともに、指導教員と密接に連絡し、学位論文や研究報告の作成を行うことが望ましい。
- 2) 博士前期課程に入学した者は、「修士論文演習」4単位を選択必修とする。
- 3) 11年次生以降は、「研究指導(必修)」を毎学期、履修する。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHHT6240	春	修士論文演習Ⅰ a	HST501	2	北條勝貴 中澤克昭 大澤正昭 豊田浩志 児嶋由枝	
MHHT6260	春	修士論文演習Ⅱ a	HST601	2	長田彰文 笹川裕史 坂野正則 井上茂子	
MHHT7060	休講	<日本史学>近世特研	HST706	2	川村信三	
MHHT7080	春	<日本史学>近・現代特研	HST708	2	長田彰文	
MHHT7190	春	<西洋史学>中世特研	HST719	2	児嶋由枝	
MHHT7210	春	<西洋史学>近世特研	HST721	2	坂野正則	
MHHT7240	春	<日本史学>古代演習Ⅰ	HST724	2	北條勝貴	
MHHT7260	春	<日本史学>中世演習Ⅰ	HST726	2	中澤克昭	
MHHT7280	休講	<日本史学>近世演習Ⅰ	HST728	2	川村信三	
MHHT7300	春	<日本史学>近・現代演習Ⅰ	HST730	2	長田彰文	
MHHT7320	春	<東洋史学>古代・中世演習Ⅰ	HST732	2	大澤正昭	
MHHT7340	春	<東洋史学>近世演習Ⅰ	HST734	2	山内弘一	
MHHT7360	春	<東洋史学>近・現代演習Ⅰ	HST736	2	笹川裕史	
MHHT7380	休講	<西洋史学>古代演習Ⅰ	HST738	2	豊田浩志	
MHHT7400	春	<西洋史学>中世演習Ⅰ	HST740	2	児嶋由枝	
MHHT7420	春	<西洋史学>近世演習Ⅰ	HST742	2	坂野正則	
MHHT7440	春	<西洋史学>近・現代演習Ⅰ	HST744	2	井上茂子	
MHHT7090	集中	史料学研究	HST709	4	中澤克昭	春学期集中
MHHT6250	秋	修士論文演習Ⅰ b	HST502	2	北條勝貴 中澤克昭 大澤正昭 豊田浩志 児嶋由枝	
MHHT6270	秋	修士論文演習Ⅱ b	HST602	2	長田彰文 笹川裕史 坂野正則 井上茂子	
MHHT7020	秋	<日本史学>古代特研	HST702	2	北條勝貴	
MHHT7040	秋	<日本史学>中世特研	HST704	2	中澤克昭	
MHHT7110	休講	<東洋史学>古代・中世特研	HST711	2	大澤正昭	
MHHT7130	休講	<東洋史学>近世特研	HST713	2	山内弘一	
MHHT7150	秋	<東洋史学>近・現代特研	HST715	2	笹川裕史	
MHHT7170	秋	<西洋史学>古代特研	HST717	2	豊田浩志	
MHHT7230	秋	<西洋史学>近・現代特研	HST723	2	井上茂子	
MHHT7250	秋	<日本史学>古代演習Ⅱ	HST725	2	北條勝貴	
MHHT7270	秋	<日本史学>中世演習Ⅱ	HST727	2	中澤克昭	
MHHT7290	休講	<日本史学>近世演習Ⅱ	HST729	2	川村信三	
MHHT7310	秋	<日本史学>近・現代演習Ⅱ	HST731	2	長田彰文	
MHHT7330	秋	<東洋史学>古代・中世演習Ⅱ	HST733	2	大澤正昭	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHHT7350	秋	<東洋史学>近世演習Ⅱ	HST735	2	山内弘一	
MHHT7370	秋	<東洋史学>近・現代演習Ⅱ	HST737	2	笹川裕史	
MHHT7390	休講	<西洋史学>古代演習Ⅱ	HST739	2	豊田浩志	
MHHT7410	秋	<西洋史学>中世演習Ⅱ	HST741	2	児嶋由枝	
MHHT7430	秋	<西洋史学>近世演習Ⅱ	HST743	2	坂野正則	
MHHT7450	秋	<西洋史学>近・現代演習Ⅱ	HST745	2	井上茂子	
MHHT9280	秋	修士論文	HST899	0	史学専攻各指導教員	M2 対象
MTTH7702	秋	(他) 聖書神学研究ゼミナール Ⅰ (古代イスラエル史)	THE770	2	(他)月本 昭男	(他) 神学研究科開講科目, 隔年 ※注

※注 神学研究科開講科目 (詳細はp.40参照)

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MHHT1111	春	研究指導	HST888	北條勝貴	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1011	春	研究指導	HST888	中澤克昭	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1021	春	研究指導	HST888	大澤正昭	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1041	春	研究指導	HST888	井上茂子	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1051	休講	研究指導	HST888	川村信三	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1061	春	研究指導	HST888	長田彰文	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1071	春	研究指導	HST888	豊田浩志	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1091	春	研究指導	HST888	児嶋由枝	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1121	春	研究指導	HST888	坂野正則	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1131	春	研究指導	HST888	笹川裕史	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1112	秋	研究指導	HST888	北條勝貴	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1012	秋	研究指導	HST888	中澤克昭	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1022	秋	研究指導	HST888	大澤正昭	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1042	秋	研究指導	HST888	井上茂子	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1052	休講	研究指導	HST888	川村信三	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1062	秋	研究指導	HST888	長田彰文	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1072	秋	研究指導	HST888	豊田浩志	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1092	秋	研究指導	HST888	児嶋由枝	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1122	秋	研究指導	HST888	坂野正則	指導科目(11年次生以降対象)
MHHT1132	秋	研究指導	HST888	笹川裕史	指導科目(11年次生以降対象)

史学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【11年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること
授業科目			
・必修科目	12		
└博士論文演習Ⅰ・Ⅱ	12		6学期(6回)で合計12単位分履修すること
研究指導(必修)			単位なし, 毎学期履修すること
博士論文			

【10年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること
・必修科目	12		
└博士論文演習	12		3年間(合計で12単位分)履修すること *注1
博士論文			

【博士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で, テーマ設定が適切であり, 対象分野に関する新しい史実の発見, ないしは既知の史実に対する新しい解釈の提示をしていること。
 - 2) 先行研究が網羅的に検討・吟味されており, 出典記載や引用が適切になされていること。
 - 3) 史・資料に基づいた実証研究であること。
 - 4) 論文構成が的確で, 論理展開に整合性と一貫性があること。
 - 5) 論文の言語表現が的確であり, 目次・注・付録(図表・史料・参考文献表など)に関する体裁が整っていること。
 - 6) 当該分野における独創的かつ先端的な研究であり, 執筆者が自立的研究者として研究を遂行する能力があることを証明する研究であること。
- なお, 博士論文の提出については, 「博士の学位授与に関する史学専攻内規」を参照すること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
博士論文演習Ⅰ *注1	2		
博士論文演習Ⅱ *注1	2		

*注1: 2011年度より「博士論文演習」は「博士論文演習Ⅰ」・「博士論文演習Ⅱ」に分割された。

3. 履修上の注意

- 1) 史学専攻の学生は、専任教員1名を指導教員として定め、所定の科目を履修するとともに、指導教員と密接に連絡し、学位論文や研究報告の作成を行うことが望ましい。
- 2) 博士後期課程に入学した者は、指導教員の開講する「博士論文演習」（2011年度より半期化されたため、「博士論文演習Ⅰ」「博士論文演習Ⅱ」となった）を合計で12単位修得する必要がある（ただし、大学の交換留学制度で指定された外国の大学にて勉学する場合は、その限りではない）。なお、博士論文の提出に関しては、「博士の学位授与に関する史学専攻内規」を参照されたい。
- 3) 2011年度以降に博士後期課程に入学した者は、「研究指導（必修）」を毎学期履修すること。
- 4) 博士後期課程に入学した者は、指導教員の開講する「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」（博士前期課程開講科目一覧表を参照のこと）を履修することが望ましい。なお、これは後期課程の修了要件とはならない。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
DHHT3021	春	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	山内弘一	
DHHT3031	春	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	大澤正昭	
DHHT3041	春	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	長田彰文	
DHHT3061	休講	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	豊田浩志	
DHHT3081	休講	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	川村信三	
DHHT3091	春	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	井上茂子	英語及びドイツ語による授業
DHHT3101	春	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	笹川裕史	
DHHT3231	春	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	中澤克昭	
DHHT3201	春	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	北條勝貴	
DHHT3211	春	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	児嶋由枝	英語及びイタリア語による授業
DHHT3022	秋	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	山内弘一	
DHHT3032	秋	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	大澤正昭	
DHHT3042	秋	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	長田彰文	
DHHT3062	休講	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	豊田浩志	
DHHT3082	休講	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	川村信三	
DHHT3092	秋	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	井上茂子	英語及びドイツ語による授業
DHHT3102	秋	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	笹川裕史	
DHHT3232	秋	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	中澤克昭	
DHHT3202	秋	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	北條勝貴	
DHHT3212	秋	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	児嶋由枝	英語及びイタリア語による授業

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
DHHT3121	春	研究指導	HST988	大澤 正 昭	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3141	春	研究指導	HST988	井上 茂 子	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3151	休講	研究指導	HST988	川村 信 三	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3161	春	研究指導	HST988	長田 彰 文	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3171	春	研究指導	HST988	豊田 浩 志	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3191	春	研究指導	HST988	笹川 裕 史	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3271	春	研究指導	HST988	中澤 克 昭	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3241	春	研究指導	HST988	北條 勝 貴	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3251	春	研究指導	HST988	児嶋 由 枝	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3122	秋	研究指導	HST988	大澤 正 昭	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3142	秋	研究指導	HST988	井上 茂 子	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3152	休講	研究指導	HST988	川村 信 三	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3162	秋	研究指導	HST988	長田 彰 文	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3172	秋	研究指導	HST988	豊田 浩 志	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3192	秋	研究指導	HST988	笹川 裕 史	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3272	秋	研究指導	HST988	中澤 克 昭	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3242	秋	研究指導	HST988	北條 勝 貴	指導科目(11年次生以降対象)
DHHT3252	秋	研究指導	HST988	児嶋 由 枝	指導科目(11年次生以降対象)

1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択科目	30		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし，毎学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識に基づき，統一されたテーマを有し，統一された形式で書き下ろされたもの。刊行された書物，抜刷の集合は認めない。
- 2) 先行研究を的確に踏まえた上で，出典記載・引用が適切になされていること。
- 3) 独創的知見を有する研究であること。
- 4) 論理展開に整合性を有し，言語表現が適切であること。
- 5) 全国レベルの学会で発表された研究論文，または発表しうる水準の論文の内容を含んでいること。
- 6) 四百字詰め原稿用紙 200 枚以上に相当する分量を有すること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
古典文学特殊講義・演習ⅠA			2
古典文学特殊講義・演習ⅠB			2
古典文学特殊講義・演習ⅡA			2
古典文学特殊講義・演習ⅡB			2
古典文学特殊講義・演習ⅢA			2
古典文学特殊講義・演習ⅢB			2
古典文学特殊講義・演習ⅣA			2
古典文学特殊講義・演習ⅣB			2
近代文学特殊講義・演習ⅠA			2
近代文学特殊講義・演習ⅠB			2
近代文学特殊講義・演習ⅡA			2
近代文学特殊講義・演習ⅡB			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
国語学特殊講義・演習ⅠA			2
国語学特殊講義・演習ⅠB			2
国語学特殊講義・演習ⅡA			2
国語学特殊講義・演習ⅡB			2
国語学特殊講義・演習ⅢA			2
国語学特殊講義・演習ⅢB			2
漢文学特殊講義・演習ⅠA			2
漢文学特殊講義・演習ⅠB			2
漢文学特殊講義・演習ⅡA			2
漢文学特殊講義・演習ⅡB			2
(他) Comparative Literature			4

3. 履修上の注意

- 1) 国文学専攻に所属する学生は、「大学院国文学専攻履修上の注意」に従って履修すること。
- 2) 「大学院国文学専攻院生の指導について」に従って、各自専任教員一名を指導教員、一名を副指導教員として定め、その指導のもとに所定の科目を履修し、かつ論文を作成すること。
- 3) 毎年度4月に専攻の定める「研究計画書」を、2月に「研究報告書」を提出すること。
- 4) 博士後期課程科目「特殊研究」を履修登録して受講することができるが、修了要件の単位としては認定されない。
- 5) 修士論文提出予定者は専攻の定める「提出予定書」及び「題目届」を提出すること。
- 6) 「研究指導（必修）」を毎学期履修すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHJL7010	春	古典文学特殊講義・演習ⅠA	JLI701	2	*荻原千鶴	後期課程「古典文学特殊研究ⅠA」と合併
MHJL7030	春	古典文学特殊講義・演習ⅡA	JLI703	2	本廣陽子	後期課程「古典文学特殊研究ⅡA」と合併
MHJL7050	春	古典文学特殊講義・演習ⅢA	JLI705	2	西澤美仁	
MHJL7070	春	古典文学特殊講義・演習ⅣA	JLI707	2	*木越治	後期課程「古典文学特殊研究ⅣA」と合併
MHJL7090	春	近代文学特殊講義・演習ⅠA	JLI709	2	(他)小林幸夫	後期課程「近代文学特殊研究ⅠA」と合併
MHJL7110	春	近代文学特殊講義・演習ⅡA	JLI711	2	*林廣親	後期課程「近代文学特殊研究ⅡA」と合併
MHJL7130	春	国語学特殊講義・演習ⅠA	JLI713	2	豊島正之	
MHJL7150	春	国語学特殊講義・演習ⅡA	JLI715	2	服部隆	
MHJL7170	休講	国語学特殊講義・演習ⅢA	JLI717	2		
MHJL7190	春	漢文学特殊講義・演習ⅠA	JLI719	2	長尾直茂	
MHJL7210	春	漢文学特殊講義・演習ⅡA	JLI721	2	福井辰彦	後期課程「漢文学特殊研究ⅡA」と合併
MZJS5120	春	Comparative Literature	JST707	4	(他)河野至恩	(他)グローバル社会専攻
MHJL7020	秋	古典文学特殊講義・演習ⅠB	JLI702	2	*荻原千鶴	後期課程「古典文学特殊研究ⅠB」と合併
MHJL7040	秋	古典文学特殊講義・演習ⅡB	JLI704	2	本廣陽子	後期課程「古典文学特殊研究ⅡB」と合併
MHJL7060	秋	古典文学特殊講義・演習ⅢB	JLI706	2	西澤美仁	
MHJL7080	秋	古典文学特殊講義・演習ⅣB	JLI708	2	*木越治	後期課程「古典文学特殊研究ⅣB」と合併
MHJL7100	秋	近代文学特殊講義・演習ⅠB	JLI710	2	(他)小林幸夫	後期課程「近代文学特殊研究ⅠB」と合併
MHJL7120	秋	近代文学特殊講義・演習ⅡB	JLI712	2	*有光隆司	後期課程「近代文学特殊研究ⅡB」と合併
MHJL7140	秋	国語学特殊講義・演習ⅠB	JLI714	2	豊島正之	
MHJL7160	秋	国語学特殊講義・演習ⅡB	JLI716	2	服部隆	
MHJL7180	休講	国語学特殊講義・演習ⅢB	JLI718	2		
MHJL7200	秋	漢文学特殊講義・演習ⅠB	JLI720	2	長尾直茂	
MHJL7220	秋	漢文学特殊講義・演習ⅡB	JLI722	2	福井辰彦	後期課程「漢文学特殊研究ⅡB」と合併
MHJL9240	秋	修士論文	JLI899	0	国文学専攻各指導教員	M2対象

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MHJL1031	春	研究指導	JLI888	西澤美仁	指導科目
MHJL1041	春	研究指導	JLI888	長尾直茂	指導科目
MHJL1051	春	研究指導	JLI888	本廣陽子	指導科目
MHJL1061	休講	研究指導	JLI888	瀬間正之	指導科目
MHJL1091	春	研究指導	JLI888	豊島正之	指導科目
MHJL1071	春	研究指導	JLI888	服部隆	指導科目
MHJL1101	春	研究指導	JLI888	福井辰彦	指導科目
MHJL1032	秋	研究指導	JLI888	西澤美仁	指導科目
MHJL1042	秋	研究指導	JLI888	長尾直茂	指導科目
MHJL1052	秋	研究指導	JLI888	本廣陽子	指導科目
MHJL1062	休講	研究指導	JLI888	瀬間正之	指導科目
MHJL1092	秋	研究指導	JLI888	豊島正之	指導科目
MHJL1072	秋	研究指導	JLI888	服部隆	指導科目
MHJL1102	秋	研究指導	JLI888	福井辰彦	指導科目

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
授業科目			
・選択科目			
研究指導 (必修)			単位なし, 毎学期履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識に基づき, 統一されたテーマを有し, 統一された形式で書き下ろされたもの。刊行された書物, 抜刷の集合は認めない。
- 2) 先行研究を的確に踏まえた上で, 出典記載・引用が適切になされていること。
- 3) 独創的知見を有する研究であること。
- 4) 論理展開に整合性を有し, 言語表現が適切であること。
- 5) 全国レベルの学会で発表された研究論文を, 最低二, 三編含んでいること。
- 6) 四百字詰め原稿用紙 300 枚以上に相当する分量を有すること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
古典文学特殊研究ⅠA			2
古典文学特殊研究ⅠB			2
古典文学特殊研究ⅡA			2
古典文学特殊研究ⅡB			2
古典文学特殊研究ⅢA			2
古典文学特殊研究ⅢB			2
古典文学特殊研究ⅣA			2
古典文学特殊研究ⅣB			2
近代文学特殊研究ⅠA			2
近代文学特殊研究ⅠB			2
近代文学特殊研究ⅡA			2
近代文学特殊研究ⅡB			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
国語学特殊研究ⅠA			2
国語学特殊研究ⅠB			2
国語学特殊研究ⅡA			2
国語学特殊研究ⅡB			2
国語学特殊研究ⅢA			2
国語学特殊研究ⅢB			2
漢文学特殊研究ⅠA			2
漢文学特殊研究ⅠB			2
漢文学特殊研究ⅡA			2
漢文学特殊研究ⅡB			2

3. 履修上の注意

- 1) 国文学専攻に所属する学生は、「大学院国文学専攻履修上の注意」に従って履修すること。
- 2) 「大学院国文学専攻院生の指導について」に従って、各自専任教員一名を指導教員、一名を副指導教員として定め、その指導のもとに所定の科目を履修し、かつ論文を作成すること。
- 3) 毎年度4月に専攻の定める「研究計画書」を、2月に「研究報告書」を提出すること。
- 4) 指導教員及び副指導教員の科目を、毎年必ず受講することが望ましい。
- 5) 「研究指導（必修）」を在籍中每学期履修すること。
- 6) 博士論文審査願提出以前に少なくとも二編以上の研究論文を学術誌に発表すること。
- 7) 博士論文を作成し、提出したい者は、「国文学専攻博士学位授与に関する内規」に従って、所定の手続きをとること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
DHJL7010	春	古典文学特殊研究ⅠA	JLI901	2	*荻原千鶴	前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅠA」と合併
DHJL7030	春	古典文学特殊研究ⅡA	JLI903	2	本廣陽子	前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅡA」と合併
DHJL7220	春	古典文学特殊研究ⅢA	JLI922	2	西澤美仁	
DHJL7060	春	古典文学特殊研究ⅣA	JLI906	2	*木越治	前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅣA」と合併
DHJL7240	春	近代文学特殊研究ⅠA	JLI924	2	(他)小林幸夫	前期課程「近代文学特殊講義・演習ⅠA」と合併
DHJL7090	春	近代文学特殊研究ⅡA	JLI909	2	*林廣親	前期課程「近代文学特殊講義・演習ⅡA」と合併
DHJL7210	春	国語学特殊研究ⅠA	JLI921	2	豊島正之	
DHJL7120	春	国語学特殊研究ⅡA	JLI912	2	服部隆	
DHJL7140	休講	国語学特殊研究ⅢA	JLI914	2		
DHJL7260	春	漢文学特殊研究ⅠA	JLI926	2	長尾直茂	
DHJL7170	春	漢文学特殊研究ⅡA	JLI917	2	福井辰彦	前期課程「漢文学特殊講義・演習ⅡA」と合併
DHJL7020	秋	古典文学特殊研究ⅠB	JLI902	2	*荻原千鶴	前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅠB」と合併
DHJL7040	秋	古典文学特殊研究ⅡB	JLI904	2	本廣陽子	前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅡB」と合併
DHJL7230	秋	古典文学特殊研究ⅢB	JLI923	2	西澤美仁	
DHJL7070	秋	古典文学特殊研究ⅣB	JLI907	2	*木越治	前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅣB」と合併
DHJL7250	秋	近代文学特殊研究ⅠB	JLI925	2	(他)小林幸夫	前期課程「近代文学特殊講義・演習ⅠB」と合併
DHJL7100	秋	近代文学特殊研究ⅡB	JLI910	2	*有光隆司	前期課程「近代文学特殊講義・演習ⅡB」と合併
DHJL7200	秋	国語学特殊研究ⅠB	JLI920	2	豊島正之	
DHJL7130	秋	国語学特殊研究ⅡB	JLI913	2	服部隆	
DHJL7150	休講	国語学特殊研究ⅢB	JLI915	2		
DHJL7270	秋	漢文学特殊研究ⅠB	JLI927	2	長尾直茂	
DHJL7180	秋	漢文学特殊研究ⅡB	JLI918	2	福井辰彦	前期課程「漢文学特殊講義・演習ⅡB」と合併

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
DHJL3331	春	研究指導	JLI988	西澤美仁	指導科目
DHJL3361	休講	研究指導	JLI988	瀬間正之	指導科目
DHJL3341	春	研究指導	JLI988	長尾直茂	指導科目
DHJL3391	春	研究指導	JLI988	豊島正之	指導科目
DHJL3371	春	研究指導	JLI988	服部隆	指導科目
DHJL3332	秋	研究指導	JLI988	西澤美仁	指導科目
DHJL3362	休講	研究指導	JLI988	瀬間正之	指導科目
DHJL3342	秋	研究指導	JLI988	長尾直茂	指導科目
DHJL3392	秋	研究指導	JLI988	豊島正之	指導科目
DHJL3372	秋	研究指導	JLI988	服部隆	指導科目

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【15年次生以降 Aコース（後期課程進学）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└文学研究法I	2		
└文学研究法II	2		
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし, 每学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【15年次生以降 Bコース（前期課程完結）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30 または 38		
授業科目			
▶必修科目	4		
└文学研究法I	2		
└文学研究法II	2		
▶選択科目	26 または 34		修士論文を執筆する者は26単位 修士論文を執筆しない者は34単位を習得し, リサーチ・ペーパーを提出すること
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし, 每学期履修すること
修士論文 またはリサーチ・ペーパー			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文またはリサーチ・ペーパーを提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文, リサーチ・ペーパーの登録をすること)

【11年次生・12年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択科目	30		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし、每学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

- 1) テーマ設定が明確であること。
- 2) 研究対象分野における過去の研究史を理解し、これを踏まえたうえで発見された研究課題であること。
- 3) 独自の知見を提示する研究であること。
- 4) 論文構成が的確で、論理展開が明確であること。
- 5) 言語表現が的確であり、形式と体裁に関する規定が守られていること。

【リサーチ・ペーパー審査基準】

- 1) テーマ設定が明確であること。
- 2) 研究対象分野における過去の研究史について一定の理解を示していること。
- 3) 構成が的確で、論理展開が明確であること。
- 4) 言語表現が的確であり、形式と体裁に関する規定が守られていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
文学研究法 I *	2		
文学研究法 II *	2		
英文学特講・演習A 1			2
英文学特講・演習A 2			2
英文学特講・演習B 1			2
英文学特講・演習B 2			2
英文学特講・演習C 1			2
英文学特講・演習C 2			2
英文学特講・演習D 1			2
英文学特講・演習D 2			2
英文学特講・演習E 1			2
英文学特講・演習E 2			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
アメリカ文学特講・演習A 1			2
アメリカ文学特講・演習A 2			2
アメリカ文学特講・演習B 1			2
アメリカ文学特講・演習B 2			2
アメリカ文学特講・演習C 1			2
アメリカ文学特講・演習C 2			2
英語学英語教育特講・演習A 1			2
英語学英語教育特講・演習A 2			2
英語学英語教育特講・演習B 1			2
英語学英語教育特講・演習B 2			2
アメリカ文化研究特講・演習A 1			2
イギリス文化研究特講・演習A 2			2

* M1（15年次生以降）対象

注）2015年度より演習科目は通年開講から学期開講に分割された。

3. 履修上の注意

- 1) 英米文学専攻に所属する学生は、「大学院英米文学専攻履修上の注意」に従って履修すること。
- 2) 「研究指導（必修）」を毎学期履修すること。

【15年次生以降】

- 1) 「文学研究法Ⅰ（必修）」、「文学研究法Ⅱ（必修）」を一年次に履修すること。
- 2) Bコース（前期課程完結）の学生の必要単位数は、修士論文を執筆する場合、30単位。修士論文を執筆しない場合は38単位を修得のうえ、リサーチ・ペーパーを提出する。詳細は専攻の規定に従うこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※*:非常勤教員	備考
MHEL1001	春	文学研究法Ⅰ	ELI501	2	松本 朗	
MHEL7201	春	英文学特講・演習A1	ELI701	2	西 能 史	
MHEL7221	春	英文学特講・演習C1	ELI705	2	舟川 一彦	
MHEL7241	春	英文学特講・演習E1	ELI709	2	CHEETHAM Dominique	
MHEL7251	春	アメリカ文学特講・演習A1	ELI711	2	増井 志津代	
MHEL7271	春	アメリカ文学特講・演習C1	ELI715	2	飯野 友幸	
MHEL7291	春	英語学英語教育特講・演習B1	ELI719	2	*織田 哲司	
MHEL7301	春	アメリカ文化研究特講・演習A1	ELI721	2	*DALE Joshua	
MHEL1002	秋	文学研究法Ⅱ	ELI502	2	*DALE Joshua	
MHEL7202	秋	英文学特講・演習A2	ELI702	2	西 能 史	
MHEL7222	秋	英文学特講・演習C2	ELI706	2	舟川 一彦	
MHEL7232	秋	英文学特講・演習D2	ELI708	2	永富 友海	
MHEL7252	秋	アメリカ文学特講・演習A2	ELI712	2	増井 志津代	
MHEL7262	秋	アメリカ文学特講・演習B2	ELI714	2	高尾 直知	
MHEL7272	秋	アメリカ文学特講・演習C2	ELI716	2	飯野 友幸	
MHEL7282	秋	英語学英語教育特講・演習A2	ELI718	2	池田 真	
MHEL7292	秋	英語学英語教育特講・演習B2	ELI720	2	*織田 哲司	
MHEL7302	秋	イギリス文化研究特講・演習A2	ELI722	2	新井 淳美	
MHEL9120	秋	修士論文	ELI899	0	英米文学専攻 各指導教員	M2対象
MHEL9130	秋	リサーチ・ペーパー	ELI898	0	英米文学専攻 各指導教員	M2対象（Bコース選択者のみ）
MHEL7211	休講	英文学特講・演習B1	ELI703	2	未定	
MHEL7212	休講	英文学特講・演習B2	ELI704	2	未定	
MHEL7231	休講	英文学特講・演習D1	ELI707	2	永富 友海	
MHEL7242	休講	英文学特講・演習E2	ELI710	2	松本 朗	
MHEL7261	休講	アメリカ文学特講・演習B1	ELI713	2	大塚 寿郎	
MHEL7281	休講	英語学英語教育特講・演習A1	ELI717	2	池田 真	

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MHEL1011	春	研究指導	ELI888	舟川一彦	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1021	春	研究指導	ELI888	飯野友幸	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1031	春	研究指導	ELI888	大塚寿郎	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1041	春	研究指導	ELI888	増井志津代	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1081	春	研究指導	ELI888	永富友海	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1101	春	研究指導	ELI888	松本朗	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1201	春	研究指導	ELI888	西能史	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1061	春	研究指導	ELI888	新井潤美	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1012	秋	研究指導	ELI888	舟川一彦	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1022	秋	研究指導	ELI888	飯野友幸	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1032	秋	研究指導	ELI888	大塚寿郎	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1042	秋	研究指導	ELI888	増井志津代	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1082	秋	研究指導	ELI888	永富友海	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1092	秋	研究指導	ELI888	池田真	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1102	秋	研究指導	ELI888	松本朗	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1202	秋	研究指導	ELI888	西能史	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1062	秋	研究指導	ELI888	新井潤美	指導科目(11年次生以降対象)
MHEL1091	休講	研究指導	ELI888	池田真	指導科目(11年次生以降対象)

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【11年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		
授業科目			
▶必修科目	12		
└リーディング・コース	12		3年間で合計12単位
▶選択科目			
研究指導 (必修)			単位なし, 每学期履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 修了論文あるいは博士予備論文, 博士論文の審査および試験に合格すること

【10年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	8		
▶必修科目	8		
└リーディング・コース	8		3年間で8単位
▶選択科目			
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 修了論文あるいは博士予備論文, 博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

- 1) テーマ設定が明確であること。
- 2) 研究対象分野における過去の研究史を理解し, これを踏まえた上で発見された研究課題であること。
- 3) 顕著な独創性を持った知見を提示し, これにより学界に何らかの貢献をなすものであること。
- 4) 論文構成が的確で, 論理展開が明確であること。
- 5) 言語表現が的確であり, 形式と体裁に関する規定が守られていること。

2. 授業科目の編成・単位

<11年次生以降対象>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
リーディング・コース1 A	2		
リーディング・コース1 B	2		
リーディング・コース2 A	2		
リーディング・コース2 B	2		
リーディング・コース3 A	2		
リーディング・コース3 B	2		
リーディング・コース4 A	2		
リーディング・コース4 B	2		
リーディング・コース5 A	2		
リーディング・コース5 B	2		
リーディング・コース6 A	2		
リーディング・コース6 B	2		
リーディング・コース7 A	2		
リーディング・コース7 B	2		
リーディング・コース8 A	2		
リーディング・コース8 B	2		
リーディング・コース9 A	2		
リーディング・コース9 B	2		

注) 2015年度より通年から学期開講に分割された。

<10年次生以前対象>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
リーディング・コースA	※8		
リーディング・コースB	※8		
リーディング・コースC	※8		
リーディング・コースD	※8		
リーディング・コースF	※8		
リーディング・コースG	※8		
リーディング・コースH	※8		
リーディング・コースI	※8		
リーディング・コースJ	※8		
リーディング・コースK	※8		

※3年間修得後、8単位を付与する。

3. 履修上の注意

後期課程の学生は、三年間に、指導教員を含めて三名の教員によるリーディング・コースを一名につき二学期分ずつ履修する。これにより10年次生以前の学生は8単位、11年次生以降の学生は12単位を与えられる。コースは英文学、アメリカ文学、英語学の三分野からできるだけ万遍なく選択するように心がけるべきである。すべてが同じ分野のものであってはいけない。また、同じ教員のコースを、二学期を超えて履修することはできない。将来、課程博士論文を提出して学位を得ようとする者は、リーディング・コースの履修に加えて、自分の専門分野における三年間の研究成果を修了論文あるいは博士予備論文として提出し、専攻所属教員による審査を受ける。修了論文あるいは博士予備論文については、英米文学専攻内規に詳細を定める。

11年次生以降については、「研究指導（必修）」を毎学期履修すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他): 他専攻教員 *: 非常勤教員	備考
DHEL3411	春	リーディング・コース1 A	ELI901	2	新井潤美	
DHEL3421	春	リーディング・コース2 A	ELI903	2	舟川一彦	
DHEL3431	春	リーディング・コース3 A	ELI905	2	飯野友幸	
DHEL3441	春	リーディング・コース4 A	ELI907	2	大塚寿郎	
DHEL3451	春	リーディング・コース5 A	ELI909	2	増井志津代	
DHEL3461	春	リーディング・コース6 A	ELI911	2	永富友海	
DHEL3481	春	リーディング・コース8 A	ELI915	2	松本朗	
DHEL3491	春	リーディング・コース9 A	ELI917	2	西能史	
DHEL3412	秋	リーディング・コース1 B	ELI902	2	新井潤美	
DHEL3422	秋	リーディング・コース2 B	ELI904	2	舟川一彦	
DHEL3432	秋	リーディング・コース3 B	ELI906	2	飯野友幸	
DHEL3442	秋	リーディング・コース4 B	ELI908	2	大塚寿郎	
DHEL3452	秋	リーディング・コース5 B	ELI910	2	増井志津代	
DHEL3462	秋	リーディング・コース6 B	ELI912	2	永富友海	
DHEL3472	秋	リーディング・コース7 B	ELI914	2	池田真	
DHEL3482	秋	リーディング・コース8 B	ELI916	2	松本朗	
DHEL3492	秋	リーディング・コース9 B	ELI918	2	西能史	
DHEL3471	休講	リーディング・コース7 A	ELI913	2	池田真	

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
DHEL3261	春	研究指導	ELI988	新井潤美	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3211	春	研究指導	ELI988	舟川一彦	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3221	春	研究指導	ELI988	飯野友幸	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3231	春	研究指導	ELI988	大塚寿郎	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3241	春	研究指導	ELI988	増井志津代	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3281	春	研究指導	ELI988	永富友海	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3301	春	研究指導	ELI988	松本朗	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3311	春	研究指導	ELI988	西能史	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3262	秋	研究指導	ELI988	新井潤美	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3212	秋	研究指導	ELI988	舟川一彦	指導科目(11年時生以降対象)
DHEL3222	秋	研究指導	ELI988	飯野友幸	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3232	秋	研究指導	ELI988	大塚寿郎	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3242	秋	研究指導	ELI988	増井志津代	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3282	秋	研究指導	ELI988	永富友海	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3292	秋	研究指導	ELI988	池田真	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3302	秋	研究指導	ELI988	松本朗	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3312	秋	研究指導	ELI988	西能史	指導科目(11年次生以降対象)
DHEL3291	休講	研究指導	ELI988	池田真	指導科目(11年次生以降対象)

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【11年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択科目	30		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）			単位なし, 每学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

自立した研究者に必要な資質と能力を示す論文であること。

- 1) テーマ設定が的確であること。
- 2) 関連する先行研究を踏まえ, 論文の位置づけが明確にされていること。
- 3) 論文の構成が適切であり, 論理展開が明快であること。
- 4) 伝えるべきことを十全に伝える言語表現がなされていること。
- 5) 引用などに関する規定が守られていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<文学研究系列>			
ドイツ文学研究Ⅰa			2
ドイツ文学研究Ⅰb			2
ドイツ文学研究Ⅱa			2
ドイツ文学研究Ⅱb			2
ドイツ文学研究Ⅲa			2
ドイツ文学研究Ⅲb			2
ドイツ文学研究Ⅳa			2
ドイツ文学研究Ⅳb			2
ドイツ文学研究Ⅴa			2
ドイツ文学研究Ⅴb			2
ドイツ文学研究Ⅵa			2
ドイツ文学研究Ⅵb			2
ドイツ文学研究Ⅶa			2
ドイツ文学研究Ⅶb			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<文化研究系列>			
ドイツ文化研究Ⅰa			2
ドイツ文化研究Ⅰb			2
ドイツ文化研究Ⅱa			2
ドイツ文化研究Ⅱb			2
ドイツ文化研究Ⅲa			2
ドイツ文化研究Ⅲb			2
<言語研究系列>			
(他) ドイツ語統語論 1 ※注 1			2
(他) ドイツ語統語論 2 ※注 1			2
(他) ドイツ語文体論 1 ※注 1			2
(他) ドイツ語文体論 2 ※注 1			2
(他) ドイツ語音韻論 1 ※注 1			2
(他) ドイツ語音韻論 2 ※注 1			2
(他) ドイツ語教育 1 ※注 1			2
(他) ドイツ語教育 2 ※注 1			2
(他) ドイツ語意味論 1 ※注 1			2
(他) ドイツ語意味論 2 ※注 1			2

※注 1 言語学専攻開講科目。詳細はp. 200～p. 201参照。

3. 履修上の注意

前期課程の学生は、指導教員の指導のもとに修士論文を作成すること。

また、11年次生以降については「研究指導（必修）」を毎学期履修すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他): 他専攻教員 *: 非常勤教員	備考
MHGL7310	春	ドイツ文学研究Ⅰa	GLI731	2	中井真之	
MHGL7320	休講	ドイツ文学研究Ⅰb	GLI732	2	中井真之	
MHGL7330	春	ドイツ文学研究Ⅱa	GLI733	2	高橋明彦	
MHGL7340	秋	ドイツ文学研究Ⅱb	GLI734	2	高橋明彦	
MHGL7350	春	ドイツ文学研究Ⅲa	GLI735	2	佐藤朋之	
MHGL7360	秋	ドイツ文学研究Ⅲb	GLI736	2	佐藤朋之	
MHGL7370	休講	ドイツ文学研究Ⅳa	GLI737	2	*初見基	
MHGL7380	秋	ドイツ文学研究Ⅳb	GLI738	2	*高橋輝暁	
MHGL7390	春	ドイツ文学研究Ⅴa	GLI739	2	北島玲子	
MHGL7400	秋	ドイツ文学研究Ⅴb	GLI740	2	北島玲子	
MHGL7410	春	ドイツ文学研究Ⅵa	GLI741	2	*MEUTHEN Erich	
MHGL7420	休講	ドイツ文学研究Ⅵb	GLI742	2	北島玲子	
MHGL7430	休講	ドイツ文学研究Ⅶa	GLI743	2	中村朝子	
MHGL7440	秋	ドイツ文学研究Ⅶb	GLI744	2	中村朝子	
MHGL7610	休講	ドイツ文化研究Ⅰa	GLI761	2		
MHGL7620	秋	ドイツ文化研究Ⅰb	GLI762	2	*佐藤直樹	
MHGL7630	春	ドイツ文化研究Ⅱa	GLI763	2	DUPPEL Methild	
MHGL7640	秋	ドイツ文化研究Ⅱb	GLI764	2	DUPPEL Methild	
MHGL7650	休講	ドイツ文化研究Ⅲa	GLI765	2		
MHGL7660	秋	ドイツ文化研究Ⅲb	GLI766	2	*光野正幸	
MHGL9280	秋	修士論文	GLI899	0	ドイツ文学専攻 各指導教員	M2対象

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MHGL1011	春	研究指導	GLI888	高橋明彦	指導科目(11年次生以降対象)
MHGL1021	春	研究指導	GLI888	北島玲子	指導科目(11年次生以降対象)
MHGL1041	春	研究指導	GLI888	中村朝子	指導科目(11年次生以降対象)
MHGL1051	春	研究指導	GLI888	佐藤朋之	指導科目(11年次生以降対象)
MHGL1061	春	研究指導	GLI888	DUPPEL Methild	指導科目(11年次生以降対象)
MHGL1071	春	研究指導	GLI888	中井真之	指導科目(11年次生以降対象)
MHGL1012	秋	研究指導	GLI888	高橋明彦	指導科目(11年次生以降対象)
MHGL1022	秋	研究指導	GLI888	北島玲子	指導科目(11年次生以降対象)
MHGL1042	秋	研究指導	GLI888	中村朝子	指導科目(11年次生以降対象)
MHGL1052	秋	研究指導	GLI888	佐藤朋之	指導科目(11年次生以降対象)
MHGL1062	秋	研究指導	GLI888	DUPPEL Methild	指導科目(11年次生以降対象)
MHGL1072	秋	研究指導	GLI890	中井真之	指導科目(11年次生以降対象)

ドイツ文学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【11年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	14		
授業科目			
▶ 選択必修科目			
└ 専攻科目			
▶ 選択科目			
研究指導 (必修)			単位なし, 毎学期履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

自立した研究者として, 専門分野において独自の貢献を行うことができる能力を示す論文であること。

- 1) テーマ設定が的確であり, 専門分野に新たな知見をもたらすものであること。
- 2) 関連する先行研究を踏まえ, 論文の位置づけが明確にされていること。
- 3) 論文の構成が適切であり, 論理展開が明快であること。
- 4) 伝えるべきことを十全に伝える言語表現がなされていること。
- 5) 引用などに関する規定が守られていること。

なお, 博士論文を提出するための前提条件等に関しては, ドイツ文学専攻博士学位授与に関する内規を参照のこと。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<文学研究系列>			
ドイツ文学研究Ⅰa			2
ドイツ文学研究Ⅰb			2
ドイツ文学研究Ⅱa			2
ドイツ文学研究Ⅱb			2
ドイツ文学研究Ⅲa			2
ドイツ文学研究Ⅲb			2
ドイツ文学研究Ⅳa			2
ドイツ文学研究Ⅳb			2
ドイツ文学研究Ⅴa			2
ドイツ文学研究Ⅴb			2
ドイツ文学研究Ⅵa			2
ドイツ文学研究Ⅵb			2
ドイツ文学研究Ⅶa			2
ドイツ文学研究Ⅶb			2
<文化研究系列>			
ドイツ文化研究Ⅰa			2
ドイツ文化研究Ⅰb			2
ドイツ文化研究Ⅱa			2
ドイツ文化研究Ⅱb			2
ドイツ文化研究Ⅲa			2
ドイツ文化研究Ⅲb			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<言語研究系列>			
(他) ドイツ語統語論 1 ※			2
(他) ドイツ語統語論 2 ※			2
(他) ドイツ語文体論 1 ※			2
(他) ドイツ語文体論 2 ※			2
(他) ドイツ語音韻論 1 ※			2
(他) ドイツ語音韻論 2 ※			2
(他) ドイツ語教育 1 ※			2
(他) ドイツ語教育 2 ※			2
(他) ドイツ語意味論 1 ※			2
(他) ドイツ語意味論 2 ※			2

※ 言語学専攻開講科目。詳細はp. 200～p. 201参照。

3. 履修上の注意

- 1) 後期課程の学生（11年次生以降）は、指導教員の「研究指導（必修）」を毎学期履修すること。
- 2) 指導教員開講科目は必ず履修すること。
- 3) 指導教員以外の開講科目より4科目8単位は履修すること。
- 4) 博士論文を作成し、提出したい者は、「ドイツ文学専攻博士学位授与に関する内規」に従って所定の手続きをとること。
- 5) 博士論文を提出せずに課程を修了する場合も、在籍中の研究成果を修了報告として提出しなければならない。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	備考
MHGL7310	春	ドイツ文学研究Ⅰa	GLI731	2	中井真之	
MHGL7320	休講	ドイツ文学研究Ⅰb	GLI732	2	中井真之	
MHGL7330	春	ドイツ文学研究Ⅱa	GLI733	2	高橋明彦	
MHGL7340	秋	ドイツ文学研究Ⅱb	GLI734	2	高橋明彦	
MHGL7350	春	ドイツ文学研究Ⅲa	GLI735	2	佐藤朋之	
MHGL7360	秋	ドイツ文学研究Ⅲb	GLI736	2	佐藤朋之	
MHGL7370	休講	ドイツ文学研究Ⅳa	GLI737	2	*初見基	
MHGL7380	秋	ドイツ文学研究Ⅳb	GLI738	2	*高橋輝暁	
MHGL7390	春	ドイツ文学研究Ⅴa	GLI739	2	北島玲子	
MHGL7400	秋	ドイツ文学研究Ⅴb	GLI740	2	北島玲子	
MHGL7410	春	ドイツ文学研究Ⅵa	GLI741	2	*MEUTHEN Erich	
MHGL7430	休講	ドイツ文学研究Ⅶa	GLI743	2	中村朝子	
MHGL7440	秋	ドイツ文学研究Ⅶb	GLI744	2	中村朝子	
MHGL7420	休講	ドイツ文学研究Ⅵb	GLI742	2	北島玲子	
MHGL7610	休講	ドイツ文化研究Ⅰa	GLI761	2		
MHGL7620	秋	ドイツ文化研究Ⅰb	GLI762	2	*佐藤直樹	
MHGL7630	春	ドイツ文化研究Ⅱa	GLI763	2	DUPPEL Methild	
MHGL7640	秋	ドイツ文化研究Ⅱb	GLI764	2	DUPPEL Methild	
MHGL7650	休講	ドイツ文化研究Ⅲa	GLI765	2		
MHGL7660	秋	ドイツ文化研究Ⅲb	GLI766	2	*光野正幸	

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
DHGL3211	春	研究指導	GLI988	高橋明彦	指導科目(11年次生以降対象)
DHGL3221	春	研究指導	GLI988	北島玲子	指導科目(11年次生以降対象)
DHGL3241	春	研究指導	GLI988	中村朝子	指導科目(11年次生以降対象)
DHGL3251	春	研究指導	GLI988	佐藤朋之	指導科目(11年次生以降対象)
DHGL3261	春	研究指導	GLI988	DUPPEL Methild	指導科目(11年次生以降対象)
DHGL3271	春	研究指導	GLI988	中井真之	指導科目(11年次生以降対象)
DHGL3212	秋	研究指導	GLI988	高橋明彦	指導科目(11年次生以降対象)
DHGL3222	秋	研究指導	GLI988	北島玲子	指導科目(11年次生以降対象)
DHGL3242	秋	研究指導	GLI988	中村朝子	指導科目(11年次生以降対象)
DHGL3252	秋	研究指導	GLI988	佐藤朋之	指導科目(11年次生以降対象)
DHGL3262	秋	研究指導	GLI988	DUPPEL Methild	指導科目(11年次生以降対象)
DHGL3272	秋	研究指導	GLI988	中井真之	指導科目(11年次生以降対象)

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【11年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶ 選択科目	30		
└ 自専攻科目			
└ A 群	24		
└ B 群			
└ 自研究科他専攻科目			
└ 委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導 (必修)			単位なし, 每学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【10年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶ 選択科目	30		
└ 自専攻科目			
└ A 群	24		
└ B 群			
└ 自研究科他専攻科目			
└ 委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容に社会的・学術的意義が認められるものであること。
 - 2) 研究テーマが明確で, 問題設定が適切なものであること。
 - 3) 先行研究が十分に参照され, 引用が適切に明記されていること。
 - 4) 論文の構成が的確になされ, 論理の展開が明晰であること。
 - 5) 論文の言語表現が正しく, 目次と本文に整合性があること。
- (論文のあり方全般や規格については, ガイドンスの時に配布するマニュアルを参照のこと。)

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<A群>			
ポエティック研究Ⅰ			2
ポエティック研究Ⅱ			2
19世紀小説研究Ⅰ			2
19世紀小説研究Ⅱ			2
モデルニテ研究Ⅰ			2
モデルニテ研究Ⅱ			2
20世紀文学研究Ⅰ			2
20世紀文学研究Ⅱ			2
古典主義文学研究Ⅰ			2
古典主義文学研究Ⅱ			2
自伝文学研究Ⅰ			2
自伝文学研究Ⅱ			2
アンシャン・レジーム文学研究Ⅰ			2
アンシャン・レジーム文学研究Ⅱ			2
専門文献研究AⅠ			2
専門文献研究AⅡ			2
専門文献研究BⅠ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
専門文献研究BⅡ			2
専門文献研究CⅠ			2
専門文献研究CⅡ			2
専門文献研究DⅠ			2
専門文献研究DⅡ			2
(他) 翻訳文化研究ⅡA※注1			2
(他) 翻訳文化研究ⅡB※注1			2
<B群>			
フランス語小論文作成法			2
情報科学とフランス文学			2
(他) フランス語文体論1 ※注2			2
(他) フランス語文体論2 ※注2			2
(他) フランス語文法論1 ※注2			2
(他) フランス語文法論2 ※注2			2
(他) フランス語：文体から意味へ1 ※注2			2
(他) フランス語：文体から意味へ2 ※注2			2

※注1：文化交渉学専攻開講科目。詳細はp. 115参照。

※注2：言語学専攻開講科目。詳細はp. 200～p. 201参照。

3. 履修上の注意

- 1) 11年次生以降については、指導教員の「研究指導（必修）」を毎学期履修すること。
- 2) A群より24単位履修すること。
- 3) A群・B群いずれの科目も、繰り返し履修することが可能である。
- 4) 委託聴講科目の単位はA群科目として認定する。
- 5) 4月初旬のガイダンスにおいて配布される「フランス文学専攻マニュアル」を参照のこと。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHFL7020	春	ポエティック研究Ⅱ	FLI702	2	*赤羽研三	
MHFL7090	春	古典主義文学研究Ⅰ	FLI709	2	小倉博孝	
MHFL7150	春	アンシャン・レジーム文学研究Ⅰ	FLI715	2	DESPREZ Michaël	
MHFL7360	春	20世紀文学研究Ⅰ	FLI736	2	永井敦子	
MHFL7410	春	専門文献研究BⅡ	FLI741	2	*月村辰雄	
MHFL7420	春	専門文献研究CⅠ	FLI742	2	福田耕介	
MHFL7450	春	専門文献研究DⅡ	FLI745	2	*大森晋輔	
MHFL7460	春	フランス語小論文作成法	FLI746	2	PEYRON Bruno	
MHFL7270	春	情報科学とフランス文学	FLI727	2	澤田肇	
MHFL7100	秋	古典主義文学研究Ⅱ	FLI710	2	小倉博孝	
MHFL7120	秋	自伝文学研究Ⅱ	FLI712	2	PEYRON Bruno	
MHFL7330	秋	19世紀小説研究Ⅱ	FLI733	2	澤田肇	
MHFL7370	秋	20世紀文学研究Ⅱ	FLI737	2	永井敦子	
MHFL7380	秋	専門文献研究AⅠ	FLI738	2	*永見文雄	
MHFL7400	秋	専門文献研究BⅠ	FLI740	2	*笠間直穂子	
MHFL7430	秋	専門文献研究CⅡ	FLI743	2	福田耕介	
MHFL9300	秋	修士論文	FLI899	0	フランス文学 専攻各指導教員	M2対象
MHFL7010	休講	ポエティック研究Ⅰ	FLI701	2	*赤羽研三	
MHFL7110	休講	自伝文学研究Ⅰ	FLI711	2	PEYRON Bruno	
MHFL7160	休講	アンシャン・レジーム文学研究Ⅱ	FLI716	2	DESPREZ Michaël	
MHFL7320	休講	19世紀小説研究Ⅰ	FLI732	2	澤田肇	
MHFL7340	休講	モデルニテ研究Ⅰ	FLI734	2	吉村和明	
MHFL7350	休講	モデルニテ研究Ⅱ	FLI735	2	吉村和明	
MHFL7390	休講	専門文献研究AⅡ	FLI739	2	*白石嘉治	
MHFL7440	休講	専門文献研究DⅠ	FLI744	2	*博多かおる	

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MHFL1011	春	研究指導	FLI888	澤田肇	指導科目(11年次生以降対象)
MHFL1031	春	研究指導	FLI888	永井敦子	指導科目(11年次生以降対象)
MHFL1041	春	研究指導	FLI888	小倉博孝	指導科目(11年次生以降対象)
MHFL1051	春	研究指導	FLI888	福田耕介	指導科目(11年次生以降対象)
MHFL1071	春	研究指導	FLI888	PEYRON Bruno	指導科目(11年次生以降対象)
MHFL1081	春	研究指導	FLI888	DESPREZ Michaël	指導科目(11年次生以降対象)
MHFL1012	秋	研究指導	FLI888	澤田肇	指導科目(11年次生以降対象)
MHFL1032	秋	研究指導	FLI888	永井敦子	指導科目(11年次生以降対象)
MHFL1042	秋	研究指導	FLI888	小倉博孝	指導科目(11年次生以降対象)
MHFL1052	秋	研究指導	FLI888	福田耕介	指導科目(11年次生以降対象)
MHFL1072	秋	研究指導	FLI888	PEYRON Bruno	指導科目(11年次生以降対象)
MHFL1082	秋	研究指導	FLI888	DESPREZ Michaël	指導科目(11年次生以降対象)
MHFL1021	休講	研究指導	FLI888	吉村和明	指導科目(11年次生以降対象)
MHFL1022	休講	研究指導	FLI888	吉村和明	指導科目(11年次生以降対象)

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
研究指導 (必修)			単位なし, 毎学期履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

- 1) 研究の内容に社会的・学術的意義が認められるものであること。
 - 2) 研究テーマが明確で, 問題設定が適切なものであること。
 - 3) 先行研究が十分に参照され, 引用が適切に明記されていること。
 - 4) 論文の構成が的確になされ, 論理の展開が明晰であること。
 - 5) 論文の言語表現が正しく, 目次と本文に整合性があること。
 - 6) 研究分野における先端的成果とみなされるものであること。
- (論文のあり方全般や規格については, ガイダンスの時に配布するマニュアルを参照のこと。)

2. 履修上の注意

- 1) 「研究指導 (必修)」を毎学期履修すること。
- 2) 4月初旬のガイダンスにおいて配布される「フランス文学専攻マニュアル」を参照のこと。

3. 研究指導一覧表

登録 コード	開 講 期	科目名	担当教員名	備考
DHFL3111	春	研究指導	澤 田 肇	指導科目 (11年次生以降対象)
DHFL3131	春	研究指導	永 井 敦 子	指導科目 (11年次生以降対象)
DHFL3141	春	研究指導	小 倉 博 孝	指導科目 (11年次生以降対象)
DHFL3151	春	研究指導	福 田 耕 介	指導科目 (11年次生以降対象)
DHFL3161	春	研究指導	PEYRON Bruno	指導科目 (11年次生以降対象)
DHFL3171	春	研究指導	DESPREZ Michaël	指導科目 (11年次生以降対象)
DHFL3112	秋	研究指導	澤 田 肇	指導科目 (11年次生以降対象)
DHFL3132	秋	研究指導	永 井 敦 子	指導科目 (11年次生以降対象)
DHFL3142	秋	研究指導	小 倉 博 孝	指導科目 (11年次生以降対象)
DHFL3152	秋	研究指導	福 田 耕 介	指導科目 (11年次生以降対象)
DHFL3162	秋	研究指導	PEYRON Bruno	指導科目 (11年次生以降対象)
DHFL3172	秋	研究指導	DESPREZ Michaël	指導科目 (11年次生以降対象)
DHFL3121	休講	研究指導	吉 村 和 明	指導科目 (11年次生以降対象)
DHFL3122	休講	研究指導	吉 村 和 明	指導科目 (11年次生以降対象)

新聞学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【15年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	20		
└コミュニケーション論特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
└ジャーナリズム史特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
└マス・メディア論特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
└論文演習Ⅰa	2		
└論文演習Ⅰb	2		
└論文演習Ⅱa	2		
└論文演習Ⅱb	2		
▶選択科目	10		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる（P.27参照）
研究指導（必修）			単位なし, 每学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること（修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【14年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	20		
└コミュニケーション論特講	4		
└ジャーナリズム史特講	4		
└マス・メディア論特講	4		
└論文演習Ⅰa	2		
└論文演習Ⅰb	2		
└論文演習Ⅱa	2		
└論文演習Ⅱb	2		
▶選択科目	10		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる（P.27参照）
研究指導（必修）			単位なし, 每学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること（修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

【修士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で、テーマが十分に絞り込まれていること。
- 2) 先行研究が十分に参照され、引用が的確になされていること。
- 3) 研究目的に照らして、研究のデザイン・分析方法等が適切であること。
- 4) 論文構成が的確で、論理展開に整合性・一貫性があること。
- 5) 論文の言語表現が的確で正しく、目次・注釈等に関する体裁が整っていること。
- 6) 得られた知見にオリジナリティがあり、新聞学の研究に寄与するものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
コミュニケーション論特講Ⅰ ※1	2		
コミュニケーション論特講Ⅱ ※1	2		
コミュニケーション論演習			2
ジャーナリズム史特講Ⅰ ※1	2		
ジャーナリズム史特講Ⅱ ※1	2		
ジャーナリズム史演習			2
マス・メディア論特講Ⅰ ※1	2		
マス・メディア論特講Ⅱ ※1	2		
マス・メディア論演習			2
新聞論特講Ⅰ			2
新聞論特講Ⅱ			2
放送論特講Ⅰ			2
放送論特講Ⅱ			2
広告論特講Ⅰ			2
広告論特講Ⅱ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
マス・コミュニケーション法制特講Ⅰ			2
マス・コミュニケーション法制特講Ⅱ			2
米州のマス・メディア論特講Ⅰ			2
米州のマス・メディア論特講Ⅱ			2
国際コミュニケーション論特講Ⅰ			2
国際コミュニケーション論特講Ⅱ			2
情報科学論特講Ⅰ			2
情報科学論特講Ⅱ			2
マス・コミュニケーション調査特講Ⅰ			2
マス・コミュニケーション調査特講Ⅱ			2
論文演習Ⅰa	2		
論文演習Ⅰb	2		
論文演習Ⅱa	2		
論文演習Ⅱb	2		

3. 履修上の注意

- 1) 指導教員の「研究指導（必修）」を毎学期履修すること。
- 2) 前期課程において修士論文を提出するに際しては、その概要書（A4横書・40字・35行で4枚程度）も併せて提出すること。
- 3) 必修及び選択科目「Ⅱ」の科目については、原則同一科目名の「Ⅰ」を履修していなければならない。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHJN1261	春	論文演習 I a	JRN501	2	鈴木 雄 雅	M1(16年次生)対象,注1参照
MHJN1271	春	論文演習 I a	JRN501	2	音 好 宏	M1(16年次生)対象,注1参照
MHJN1281	春	論文演習 I a	JRN501	2	田 島 泰 彦	M1(16年次生)対象,注1参照
MHJN1301	春	論文演習 I a	JRN501	2	渡 邊 久 哲	M1(16年次生)対象,注1参照
MHJN1311	春	論文演習 I a	JRN501	2	阿 部 る り	M1(16年次生)対象,注1参照
MHJN1321	春	論文演習 I a	JRN501	2	柴 野 京 子	M1(16年次生)対象,注1参照
MHJN1331	春	論文演習 I a	JRN501	2	小 此 木 潔	M1(16年次生)対象,注1参照
MHJN1341	春	論文演習 I a	JRN501	2	水 島 宏 明	M1(16年次生)対象,注1参照
MHJN7111	春	米州のマス・メディア論特講 I	JRN711	2	*大 井 眞 二	
MHJN7170	春	放送論特講 I	JRN717	2	水 島 宏 明	
MHJN7190	春	国際コミュニケーション論特講 I	JRN719	2	阿 部 る り	
MHJN7210	春	情報科学論特講 I	JRN721	2	音 好 宏	
MHJN7230	春	マス・コミュニケーション調査特講 I	JRN723	2	渡 邊 久 哲	
MHJN7020	春	コミュニケーション論演習	JRN702	2	*大 野 徹 雄	
MHJN9211	春	修士論文	JRN899	0	新聞学専攻各指導教員	M2 対象 ※9月修了希望者のみ登録可
MHJN1000	春	コミュニケーション論特講 I	JRN511	2	音 好 宏	後期課程「コミュニケーション論特殊研究 I a」と合併
MHJN1040	春	ジャーナリズム史特講 I	JRN513	2	鈴木 雄 雅	後期課程「ジャーナリズム史特殊研究 I」と合併
MHJN1070	春	マス・メディア論特講 I	JRN515	2	田 島 泰 彦	後期課程「マス・メディア論特殊研究 II a」と合併
MHJN7040	春	ジャーナリズム史演習	JRN704	2	鈴木 雄 雅	
MHJN7050	春	広告論特講 I	JRN705	2	渡 邊 久 哲	
MHJN7150	春	新聞論特講 I	JRN715	2	小 此 木 潔	後期課程「マス・メディア論特殊研究 I a」と合併
MHJN7101	春	マス・コミュニケーション法制特講 I	JRN709	2	田 島 泰 彦	後期課程「マス・メディア論特殊研究 II a」と合併
MHJN2021	春	論文演習 II a	JRN601	2	鈴木 雄 雅	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN2031	春	論文演習 II a	JRN601	2	音 好 宏	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN2041	春	論文演習 II a	JRN601	2	田 島 泰 彦	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN2061	春	論文演習 II a	JRN601	2	渡 邊 久 哲	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN2071	春	論文演習 II a	JRN601	2	阿 部 る り	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN2081	春	論文演習 II a	JRN601	2	柴 野 京 子	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN2091	春	論文演習 II a	JRN601	2	小 此 木 潔	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN2101	春	論文演習 II a	JRN601	2	水 島 宏 明	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN1262	秋	論文演習 I b	JRN502	2	鈴木 雄 雅	M1(16年次生)対象,注1参照
MHJN1272	秋	論文演習 I b	JRN502	2	音 好 宏	M1(16年次生)対象,注1参照
MHJN1282	秋	論文演習 I b	JRN502	2	田 島 泰 彦	M1(16年次生)対象,注1参照
MHJN1302	秋	論文演習 I b	JRN502	2	渡 邊 久 哲	M1(16年次生)対象,注1参照
MHJN1322	秋	論文演習 I b	JRN502	2	柴 野 京 子	M1(16年次生)対象,注1参照
MHJN1332	秋	論文演習 I b	JRN502	2	小 此 木 潔	M1(16年次生)対象,注1参照
MHJN1342	秋	論文演習 I b	JRN502	2	水 島 宏 明	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN7112	秋	米州のマス・メディア論特講 II	JRN712	2	*大 井 眞 二	
MHJN7180	秋	放送論特講 II	JRN718	2	水 島 宏 明	
MHJN7220	秋	情報科学論特講 II	JRN722	2	音 好 宏	
MHJN7240	秋	マス・コミュニケーション調査特講 II	JRN724	2	渡 邊 久 哲	
MHJN7060	秋	マス・メディア論演習	JRN706	2	柴 野 京 子	
MHJN9210	秋	修士論文	JRN899	0	新聞学専攻各指導教員	M2 対象
MHJN1020	秋	コミュニケーション論特講 II	JRN512	2	音 好 宏	後期課程「コミュニケーション論特殊研究 I b」と合併
MHJN1060	秋	ジャーナリズム史特講 II	JRN514	2	鈴木 雄 雅	後期課程「ジャーナリズム史特殊研究 II」と合併
MHJN1080	秋	マス・メディア論特講 II	JRN516	2	田 島 泰 彦	後期課程「マス・メディア論特殊研究 II b」と合併
MHJN7070	秋	広告論特講 II	JRN707	2	渡 邊 久 哲	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHJN7160	秋	新聞論特講Ⅱ	JRN716	2	小 此 木 潔	後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅰb」と合併
MHJN7102	秋	マス・コミュニケーション法制特講Ⅱ	JRN710	2	田 島 泰 彦	後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅱb」と合併
MHJN2022	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	鈴 木 雄 雅	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN2032	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	音 好 宏	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN2042	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	田 島 泰 彦	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN2052	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	碓 井 広 義	休講
MHJN2062	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	渡 邊 久 哲	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN2072	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	阿 部 る り	休講
MHJN2082	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	柴 野 京 子	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN2092	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	小 此 木 潔	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN2102	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	水 島 宏 明	M2(15年次生)対象,注1参照
MHJN1291	休講	論文演習Ⅰa	JRN501	2	碓 井 広 義	休講
MHJN2051	休講	論文演習Ⅱa	JRN601	2	碓 井 広 義	休講
MHJN1292	休講	論文演習Ⅰb	JRN502	2	碓 井 広 義	休講
MHJN1312	休講	論文演習Ⅰb	JRN502	2	阿 部 る り	休講
MHJN7200	休講	国際コミュニケーション論特講Ⅱ	JRN720	2	阿 部 る り	休講

注1：論文演習については以下の通り合同で行う(合併科目)

前期課程「論文演習Ⅰa」,「論文演習Ⅱa」/後期課程「論文演習Ⅰa」,「論文演習Ⅱa」,「論文演習Ⅲa」

前期課程「論文演習Ⅰb」,「論文演習Ⅱb」/後期課程「論文演習Ⅰb」,「論文演習Ⅱb」,「論文演習Ⅲb」

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MHJN1481	春	研究指導	JRN888	柴 野 京 子	指導科目
MHJN1421	春	研究指導	JRN888	鈴 木 雄 雅	指導科目
MHJN1431	春	研究指導	JRN888	音 好 宏	指導科目
MHJN1441	春	研究指導	JRN888	田 島 泰 彦	指導科目
MHJN1461	春	研究指導	JRN888	渡 邊 久 哲	指導科目
MHJN1471	春	研究指導	JRN888	阿 部 る り	指導科目
MHJN1491	春	研究指導	JRN888	小 此 木 潔	指導科目
MHJN1501	春	研究指導	JRN888	水 島 宏 明	指導科目
MHJN1482	秋	研究指導	JRN888	柴 野 京 子	指導科目
MHJN1422	秋	研究指導	JRN888	鈴 木 雄 雅	指導科目
MHJN1432	秋	研究指導	JRN888	音 好 宏	指導科目
MHJN1442	秋	研究指導	JRN888	田 島 泰 彦	指導科目
MHJN1462	秋	研究指導	JRN888	渡 邊 久 哲	指導科目
MHJN1492	秋	研究指導	JRN888	小 此 木 潔	指導科目
MHJN1502	秋	研究指導	JRN888	水 島 宏 明	指導科目
MHJN1451	休講	研究指導	JRN888	碓 井 広 義	休講
MHJN1452	休講	研究指導	JRN888	碓 井 広 義	休講
MHJN1472	休講	研究指導	JRN888	阿 部 る り	休講

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【11年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		
授業科目			
・必修科目	12		
└論文演習Ⅰa	2		
└論文演習Ⅰb	2		
└論文演習Ⅱa	2		
└論文演習Ⅱb	2		
└論文演習Ⅲa	2		
└論文演習Ⅲb	2		
研究指導（必修）			単位なし, 每学期履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で, テーマが十分に絞り込まれていること。
- 2) 先行研究を十分に検討・吟味し, 引用が的確になされていること。
- 3) 研究目的に照らして, 研究のデザイン・分析方法等が適切であること。
- 4) 論文構成が的確で, 論理展開に整合性・一貫性があること。
- 5) 論文の言語表現が的確で正しく, 目次・注釈等に関する体裁が整っていること。
- 6) 得られた知見にオリジナリティがあり, 新聞学の研究に寄与するものであること。
- 7) 執筆者に今後研究者として自立して研究を遂行していく能力があることを示すものであること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
コミュニケーション論特殊研究Ⅰa			2
コミュニケーション論特殊研究Ⅰb			2
コミュニケーション論特殊研究Ⅱa			2
コミュニケーション論特殊研究Ⅱb			2
コミュニケーション論特殊研究演習Ⅰ			2
コミュニケーション論特殊研究演習Ⅱ			2
ジャーナリズム史特殊研究Ⅰ			2
ジャーナリズム史特殊研究Ⅱ			2
ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅰ			2
ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅱ			2
マス・メディア論特殊研究Ⅰa			2
マス・メディア論特殊研究Ⅰb			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
マス・メディア論特殊研究Ⅱa			2
マス・メディア論特殊研究Ⅱb			2
マス・メディア論特殊研究演習Ⅰ			2
マス・メディア論特殊研究演習Ⅱ			2
論文演習Ⅰa	2		
論文演習Ⅰb	2		
論文演習Ⅱa	2		
論文演習Ⅱb	2		
論文演習Ⅲa	2		
論文演習Ⅲb	2		

3. 履修上の注意

- 1) 11 年次生以降対象の後期課程論文演習は半期ごとに 2 単位, 3 年間で計 12 単位を履修すること。
- 2) 11 年次生以降は, 指導教員の「研究指導 (必修)」を毎学期履修すること。
- 3) 博士論文執筆にあたっては専攻規定 (2011 年 4 月 1 日改訂) を参照のこと。なお, 学位論文未提出にて満期退学する場合も, 研究成果 (修士論文レベル) を提出し, 指導教員ならびに専攻の承認を得なければならない。
- 4) 2013 年度までの入学者が満期退学時の課程博士論文 (特例扱い) を申請する場合は, 指導教員ならびに学事センターと十分の相談のうえ申請すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他): 他専攻教員 *: 非常勤教員	備考
DHJN3211	春	論文演習 I a	JRN901	2	小 此 木 潔	D1 (16年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN3221	春	論文演習 I a	JRN901	2	鈴 木 雄 雅	D1 (16年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN3231	春	論文演習 I a	JRN901	2	音 好 宏	D1 (16年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN3241	春	論文演習 I a	JRN901	2	田 島 泰 彦	D1 (16年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN3261	春	論文演習 I a	JRN901	2	渡 邊 久 哲	D1 (16年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN3271	春	論文演習 I a	JRN901	2	水 島 宏 明	D1 (16年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN4011	春	論文演習 II a	JRN903	2	小 此 木 潔	D2 (15年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN4021	春	論文演習 II a	JRN903	2	鈴 木 雄 雅	D2 (15年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN4031	春	論文演習 II a	JRN903	2	音 好 宏	D2 (15年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN4041	春	論文演習 II a	JRN903	2	田 島 泰 彦	D2 (15年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN4061	春	論文演習 II a	JRN903	2	渡 邊 久 哲	D2 (15年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN4071	春	論文演習 II a	JRN903	2	水 島 宏 明	D2 (15年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN5011	春	論文演習 III a	JRN905	2	小 此 木 潔	D3 (14年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN5021	春	論文演習 III a	JRN905	2	鈴 木 雄 雅	D3 (14年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN5031	春	論文演習 III a	JRN905	2	音 好 宏	D3 (14年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN5041	春	論文演習 III a	JRN905	2	田 島 泰 彦	D3 (14年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN5061	春	論文演習 III a	JRN905	2	渡 邊 久 哲	D3 (14年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN5071	春	論文演習 III a	JRN905	2	水 島 宏 明	D3 (14年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN3010	春	コミュニケーション論特殊研究 I a	JRN911	2	音 好 宏	前期課程「コミュニケーション論特講 I」と合併
DHJN7020	春	コミュニケーション論特殊研究 II a	JRN913	2	渡 邊 久 哲	
DHJN7030	春	コミュニケーション論特殊研究演習 I	JRN915	2	音 好 宏	
DHJN7040	春	ジャーナリズム史特殊研究 I	JRN917	2	鈴 木 雄 雅	前期課程「ジャーナリズム史特講 I」と合併
DHJN7050	春	ジャーナリズム史特殊研究演習 I a	JRN919	2	鈴 木 雄 雅	
DHJN7070	春	マス・メディア論特殊研究 II a	JRN923	2	田 島 泰 彦	前期課程「マス・メディア論特講 I」と合併
DHJN7060	春	マス・メディア論特殊研究 I a	JRN921	2	小 此 木 潔	前期課程「新聞学特講 I」と合併
DHJN3212	秋	論文演習 I b	JRN902	2	小 此 木 潔	D1 (16年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN3222	秋	論文演習 I b	JRN902	2	鈴 木 雄 雅	D1 (16年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN3232	秋	論文演習 I b	JRN902	2	音 好 宏	D1 (16年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN3242	秋	論文演習 I b	JRN902	2	田 島 泰 彦	D1 (16年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN3262	秋	論文演習 I b	JRN902	2	渡 邊 久 哲	D1 (16年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN3272	秋	論文演習 I b	JRN902	2	水 島 宏 明	D1 (16年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN4012	秋	論文演習 II b	JRN904	2	小 此 木 潔	D2 (15年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN4022	秋	論文演習 II b	JRN904	2	鈴 木 雄 雅	D2 (15年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN4032	秋	論文演習 II b	JRN904	2	音 好 宏	D2 (15年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN4042	秋	論文演習 II b	JRN904	2	田 島 泰 彦	D2 (15年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN4062	秋	論文演習 II b	JRN904	2	渡 邊 久 哲	D2 (15年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN4072	秋	論文演習 II b	JRN904	2	水 島 宏 明	D2 (15年次生) 対象, 注 1 参照
DHJN5012	秋	論文演習 III b	JRN906	2	小 此 木 潔	D3 (14年次生) 対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
DHJN5022	秋	論文演習Ⅲb	JRN906	2	鈴木雄雅	D3(14年次生)対象,注1参照
DHJN5032	秋	論文演習Ⅲb	JRN906	2	音好宏	D3(14年次生)対象,注1参照
DHJN5042	秋	論文演習Ⅲb	JRN906	2	田島泰彦	D3(14年次生)対象,注1参照
DHJN5062	秋	論文演習Ⅲb	JRN906	2	渡邊久哲	D3(14年次生)対象,注1参照
DHJN5072	秋	論文演習Ⅲb	JRN906	2	水島宏明	D3(14年次生)対象,注1参照
DHJN7011	秋	コミュニケーション論特殊研究Ⅰb	JRN912	2	音好宏	前期課程「コミュニケーション論特講Ⅱ」と合併
DHJN7021	秋	コミュニケーション論特殊研究Ⅱb	JRN914	2	渡邊久哲	
DHJN7031	秋	コミュニケーション論特殊研究演習Ⅱ	JRN916	2	音好宏	
DHJN7041	秋	ジャーナリズム史特殊研究Ⅱ	JRN918	2	鈴木雄雅	前期課程「ジャーナリズム史特講Ⅱ」と合併
DHJN7051	秋	ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅰb	JRN920	2	鈴木雄雅	
DHJN7071	秋	マス・メディア論特殊研究Ⅱb	JRN924	2	田島泰彦	前期課程「マス・メディア論特講Ⅱ」と合併
DHJN7061	秋	マス・メディア論特殊研究Ⅰb	JRN922	2	小此木 潔	前期課程「新聞学特講Ⅱ」と合併
DHJN3251	休講	論文演習Ⅰa	JRN901	2	碓井広義	休講
DHJN4051	休講	論文演習Ⅱa	JRN903	2	碓井広義	休講
DHJN5051	休講	論文演習Ⅲa	JRN905	2	碓井広義	休講
DHJN7080	休講	マス・メディア論特殊研究演習Ⅰ	JRN925	2	碓井広義	休講
DHJN3252	休講	論文演習Ⅰb	JRN902	2	碓井広義	休講
DHJN4052	休講	論文演習Ⅱb	JRN904	2	碓井広義	休講
DHJN5052	休講	論文演習Ⅲb	JRN906	2	碓井広義	休講
DHJN7081	休講	マス・メディア論特殊研究演習Ⅱ	JRN926	2	碓井広義	休講

注1：論文演習については以下の通り合同で行う(合併科目)

前期課程「論文演習Ⅰa」,「論文演習Ⅱa」／後期課程「論文演習Ⅰa」,「論文演習Ⅱa」,「論文演習Ⅲa」

前期課程「論文演習Ⅰb」,「論文演習Ⅱb」／後期課程「論文演習Ⅰb」,「論文演習Ⅱb」,「論文演習Ⅲb」

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
DHJN3311	春	研究指導	JRN988	小此木 潔	指導科目(11年次生以降対象)
DHJN3321	春	研究指導	JRN988	鈴木雄雅	指導科目(11年次生以降対象)
DHJN3331	春	研究指導	JRN988	音好宏	指導科目(11年次生以降対象)
DHJN3341	春	研究指導	JRN988	田島泰彦	指導科目(11年次生以降対象)
DHJN3361	春	研究指導	JRN988	渡邊久哲	指導科目(11年次生以降対象)
DHJN3371	春	研究指導	JRN988	水島宏明	指導科目(11年次生以降対象)
DHJN3312	秋	研究指導	JRN988	小此木 潔	指導科目(11年次生以降対象)
DHJN3322	秋	研究指導	JRN988	鈴木雄雅	指導科目(11年次生以降対象)
DHJN3332	秋	研究指導	JRN988	音好宏	指導科目(11年次生以降対象)
DHJN3342	秋	研究指導	JRN988	田島泰彦	指導科目(11年次生以降対象)
DHJN3362	秋	研究指導	JRN988	渡邊久哲	指導科目(11年次生以降対象)
DHJN3372	秋	研究指導	JRN988	水島宏明	指導科目(11年次生以降対象)
DHJN3351	休講	研究指導	JRN988	碓井広義	休講
DHJN3352	休講	研究指導	JRN988	碓井広義	休講

文化交渉学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考(上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└論文作成法 I A	2		
└論文作成法 I B	2		
・選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			国際連合大学との委託聴講科目 (4単位まで)
研究指導 (必修)			単位なし, 毎学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

追って公表する。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
論文作成法 I A	2		
論文作成法 I B	2		
異文化研究特講 I A			2
異文化研究特講 I B			2
異文化研究特講 II A			2
異文化研究特講 II B			2
文化交渉学特講 I A			2
文化交渉学特講 I B			2
文化交渉学特講 II A			2
文化交渉学特講 II B			2
文化交渉学特講 III A			2
文化交渉学特講 III B			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
翻訳文化研究 I A			2
翻訳文化研究 I B			2
翻訳文化研究 II A			2
翻訳文化研究 II B			2
翻訳文化研究 III A			2
翻訳文化研究 III B			2
芸術文化研究 I A			2
芸術文化研究 I B			2
芸術文化研究 II A			2
芸術文化研究 II B			2
芸術文化研究 III A			2
芸術文化研究 III B			2

3. 履修上の注意

- 1) 「論文作成法ⅠA」および「論文作成法ⅠB」は必修科目なので、1年次に必ず履修すること。
- 2) 「研究指導（必修）」は、毎学期履修すること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHCU1010	春	論文作成法ⅠA	CUI501	2	山内 弘一	M1対象
MHCU7010	休講	異文化研究特講ⅠA	CUI701	2		
MHCU7030	春	異文化研究特講ⅡA	CUI703	2	*井上 健	
MHCU7050	休講	文化交渉学特講ⅠA	CUI705	2		
MHCU7070	春	文化交渉学特講ⅡA	CUI707	2	(他)山岡 三治	
MHCU7090	春	文化交渉学特講ⅢA	CUI709	2	(他)新井 潤美	
MHCU7110	休講	翻訳文化研究ⅠA	CUI711	2		
MHCU7130	春	翻訳文化研究ⅡA	CUI713	2	SCHWARTZ-ARENALES Laure	
MHCU7150	春	翻訳文化研究ⅢA	CUI715	2	(他)豊島 正之	
MHCU7170	春	芸術文化研究ⅠA	CUI717	2	小林 幸夫	
MHCU7190	春	芸術文化研究ⅡA	CUI719	2	*齊藤 貴子	
MHCU7210	春	芸術文化研究ⅢA	CUI721	2	*川瀬 佑介	
MHCU1020	秋	論文作成法ⅠB	CUI502	2	小林 幸夫	M1対象
MHCU7020	秋	異文化研究特講ⅠB	CUI702	2	CHEETHAM Dominic	
MHCU7040	秋	異文化研究特講ⅡB	CUI704	2	*井上 健	
MHCU7060	秋	文化交渉学特講ⅠB	CUI706	2	山内 弘一	
MHCU7080	秋	文化交渉学特講ⅡB	CUI708	2	(他)山岡 三治	
MHCU7100	秋	文化交渉学特講ⅢB	CUI710	2	(他)中澤 克昭	
MHCU7120	秋	翻訳文化研究ⅠB	CUI712	2	(他)飯野 友幸	
MHCU7140	秋	翻訳文化研究ⅡB	CUI714	2	SCHWARTZ-ARENALES Laure	
MHCU7160	春	翻訳文化研究ⅢB	CUI716	2	(他)中村 朝子	
MHCU7180	秋	芸術文化研究ⅠB	CUI718	2	(他)北島 玲子	
MHCU7200	秋	芸術文化研究ⅡB	CUI720	2	*齊藤 貴子	
MHCU7220	秋	芸術文化研究ⅢB	CUI722	2	*三田村 雅子	
MHCU9010	秋	修士論文	CUI899	0	文化交渉学専攻各指導教員	M2対象

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MHCU1111	休講	研究指導	CUI888	三輪 玲子	指導科目
MHCU1121	春	研究指導	CUI888	山内 弘一	指導科目
MHCU1131	春	研究指導	CUI888	小林 幸夫	指導科目
MHCU1141	春	研究指導	CUI888	CHEETHAM Dominic	指導科目
MHCU1151	春	研究指導	CUI888	SCHWARTZ-ARENALES Laure	指導科目
MHCU1112	休講	研究指導	CUI888	三輪 玲子	指導科目
MHCU1122	秋	研究指導	CUI888	山内 弘一	指導科目
MHCU1132	秋	研究指導	CUI888	小林 幸夫	指導科目
MHCU1142	秋	研究指導	CUI888	CHEETHAM Dominic	指導科目
MHCU1152	秋	研究指導	CUI888	SCHWARTZ-ARENALES Laure	指導科目

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
研究指導 (必修)			単位なし, 毎学期履修すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

追って公表する。

2. 履修上の注意

- 1) 「研究指導 (必修)」は, 毎学期履修すること。
- 2) 学位規定, 博士後期課程の研究スケジュール (指針) に従って, 研究に従事し, 博士号の取得をめざすこと。

3. 開講科目一覧表

登録 コード	開 講 期	科目名	担当教員名	備考
DHCU3011	休講	研究指導	三 輪 玲 子	指導科目
DHCU3021	春	研究指導	山 内 弘 一	指導科目
DHCU3031	春	研究指導	小 林 幸 夫	指導科目
DHCU3041	春	研究指導	CHEETHAM Dominic	指導科目
DHCU3051	春	研究指導	SCHWARTZ-ARENALES Laure	指導科目
DHCU3012	休講	研究指導	三 輪 玲 子	指導科目
DHCU3022	秋	研究指導	山 内 弘 一	指導科目
DHCU3032	秋	研究指導	小 林 幸 夫	指導科目
DHCU3042	秋	研究指導	CHEETHAM Dominic	指導科目
DHCU3052	秋	研究指導	SCHWARTZ-ARENALES Laure	指導科目

实践宗教学研究科

1. 実践宗教学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

現代社会の宗教的思想的基盤を研究するとともに、新たな取り組みが求められる現代の死生学的課題について、価値多元化社会における宗教の社会的役割、死生観及び生命倫理、臨床スピリチュアルケアの三視点から研究・教育を行う。また、スピリチュアリティを基盤にしたケアの実践的対応能力の修得を目指す。これらを通じて実践力のある研究者、臨床家、コミュニティケア人材、ケア指導者等を養成する。

2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

死生学専攻

本専攻では、現代社会の宗教的基盤を研究するとともに、現代の死生学的課題について、価値多元化社会における宗教の社会的役割、死生観及び生命倫理、臨床スピリチュアルケアの三視点から教育研究を行います。

学生は、初めに死生学研究について理解を深め、その上で、第1群：宗教の公共性、第2群：死生観・生命倫理、第3群：臨床スピリチュアルケアに分かれる演習科目を履修し、専門領域を特化し、実践宗教学的課題に対する幅広い知見を養います。さらに講義科目と実習科目からなる選択科目で関連分野の学知を補完します。本専攻では、実習に重きを置いており、理論と実践の絶え間ない振り返り学習を可能としています。それらと並行して、研究指導を受け、修士論文の作成を進めるという体系的なカリキュラムを組んでいます。

3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

死生学専攻

現代社会で生じるさまざまな問題に対して、宗教文化や倫理思想的伝統を踏まえて対応する知の領域、さらに人文学とスピリチュアルケアの実習を土台として、医療やケアの現場や地域社会の実践的・臨牀的な問題に対応しうる学知の修得者の養成を目指しています。この方針に基づき、本課程では、所定の科目を履修し、かつ研究指導を受けた上で、修士論文を提出し、その審査に合格した学生に修士（文学）の学位を授与します。

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└死生学研究法Ⅰ	2		
└死生学研究法Ⅱ	2		
▶選択必修科目	6		選択した1つの群から4単位および他の群から2単位修得すること
└第1群			
└第2群			
└第3群			
▶選択科目	20		
└自専攻科目			
研究指導（必修）			単位なし, 毎学期履修すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

- (1) 論文の課題設定の適切性
論文の課題の設定が明確であり, かつ, 当該領域の研究に学術的に寄与し得る独創性を有していること。
- (2) 専門的知識の理解
当該領域にかかる専門的知識が十分に理解, 修得されていること。
- (3) 先行研究の理解
当該領域にかかる先行研究を理解し, かつ, 先行研究が十分に参照・明記され, 引用が正確になされていること。
- (4) 研究方法の適切性
研究テーマ及び研究目的に対して, 研究方法・分析方法が適切であること。
- (5) 論文構成の適切性
論文構成が的確で, 論理展開に整合性, 一貫性があるか。また, 論理展開に無駄や矛盾がないこと。
- (6) 倫理的配慮
研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っているか。また, 本学が定める研究倫理基準を満たしたものであること。
- (7) 論文としての体裁, 形式上の適切性
章・節の構成が適切であり, 目次を見ることで全体の論旨が予想できること, 文章が明解で, 論旨が明確に理解可能であること。文献等の引用が適切であること。注記が適切であること。誤字や脱字が散見されないこと。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
死生学研究法Ⅰ	2		
死生学研究法Ⅱ	2		
＜第1群＞			
宗教学演習		2	
宗教史演習		2	
宗教と社会演習		2	
＜第2群＞			
死生学演習		2	
生命倫理学演習		2	
医療人文学演習		2	
＜第3群＞			
臨床スピリチュアルケア演習		2	
生涯発達論演習		2	
＜選択科目＞			
宗教学研究			2
比較宗教学			2
宗教史研究			4
宗教と社会研究			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
死生学研究			2
生命倫理学研究			2
臨床倫理学原論			2
臨床倫理学特論			2
実践宗教学研究Ⅰ			2
実践宗教学研究Ⅱ			2
臨床スピリチュアルケア研究			2
生涯発達論研究Ⅰ			2
生涯発達論研究Ⅱ			2
実践宗教学インターンシップAⅠ			1
実践宗教学インターンシップAⅡ			1
実践宗教学インターンシップBⅠ			1
実践宗教学インターンシップBⅡⅠ			1
臨床スピリチュアルケア実習AⅠ			1
臨床スピリチュアルケア実習AⅡ			1
臨床スピリチュアルケア実習BⅠ			1
臨床スピリチュアルケア実習BⅡ			1

3. 履修上の注意

- 1) 死生学専攻の修了要件は、必修科目4単位を含む30単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。
- 2) 指導教員の「研究指導(必修)」を、在学中毎学期履修すること。
- 3) 選択必修科目の必要単位数6単位については、3つの群のうち選択した1つの群から4単位およびその他の群から2単位を修得すること。なお、選択必修科目を必要単位数を超えて修得した場合、選択科目の単位に充当することができる。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MARL1010	春	死生学研究法Ⅰ	ARL501	2	島菌・伊藤	輪講
MARL6010	春	宗教学演習	ARL711	2	高山 貞美	神学専攻「キリスト教教育ゼミナールⅡ」と合併
MARL6030	春	宗教と社会演習	ARL712	2	伊達 聖伸	隔年開講
MARL6110	春	死生学演習	ARL713	2	島菌 進	
MARL6130	春	医療人文学演習	ARL714	2	*加藤 眞三	
MARL6210	春	臨床スピリチュアルケア演習	ARL715	2	伊藤 高章	
MARL7030	春	宗教史研究	ARL716	4	(他)ROBOUAM Thierry	グローバル社会専攻「TOPICS IN CONTEMPORARY JAPANESE BUDDHISM」と合併
MARL7060	春	生命倫理学研究	ARL717	2	浅見 昇吾	
MARL7070	春	臨床倫理学原論	ARL718	2	寺田 俊郎	哲学専攻「現代倫理学研究Ⅰ」と合併
MARL7120	春	生涯発達論研究Ⅰ	ARL719	2	武田 なほみ	隔年開講, 神学専攻「キリスト教教育Ⅰ」と合併
MARL7400	春	実践宗教学インターンシップAⅠ	ARL720	1	浅見・島菌・武田・伊藤	春学期集中
MARL7500	春	臨床スピリチュアルケア実習AⅠ	ARL721	1	伊藤 高章	春学期集中
MARL1020	秋	死生学研究法Ⅱ	ARL721	2	島菌・伊藤	輪講
MARL6020	秋	宗教史演習	ARL722	2	村上 辰雄	
MARL6120	秋	生命倫理学演習	ARL723	2	浅見 昇吾	
MARL6220	秋	生涯発達論演習	ARL724	2	武田 なほみ	
MARL7010	秋	宗教学研究	ARL725	2	高山 貞美	
MARL7020	秋	比較宗教学	ARL726	2	島菌 進	隔年開講
MARL7050	秋	死生学研究	ARL727	2	島菌 進	
MARL7080	秋	臨床倫理学特論	ARL728	2	寺田 俊郎	哲学専攻「現代倫理学研究Ⅱ」と合併
MARL7100	秋	実践宗教学研究Ⅱ	ARL729	2	山岡 三治	隔年開講, 神学専攻「キリスト教教育Ⅱ」と合併
MARL7110	秋	臨床スピリチュアルケア研究	ARL730	2	伊藤 高章	
MARL7410	秋	実践宗教学インターンシップAⅡ	ARL731	1	浅見・島菌・武田・伊藤	秋学期集中
MARL7510	集中	臨床スピリチュアルケア実習AⅡ	ARL732	1	伊藤 高章	秋学期集中
MARL7040	秋	宗教と社会研究	ARL733	2	伊達 聖伸	隔年開講, 地域専攻「ヨーロッパ政治研究Ⅰ」と合併
MARL7090	休講	実践宗教学研究Ⅰ	ARL734	2	山岡 三治	隔年開講, 神学専攻「キリスト教教育Ⅱ」と合併
MARL7130	休講	生涯発達論研究Ⅱ	ARL735	2	武田 なほみ	隔年開講, 神学専攻「バプティズム特講」と合併
MARL7420	休講	実践宗教学インターンシップBⅠ	ARL736	1	浅見・島菌・武田・伊藤	M2対象科目
MARL7430	休講	実践宗教学インターンシップBⅡ	ARL737	1	浅見・島菌・武田・伊藤	M2対象科目
MARL7520	休講	臨床スピリチュアルケア実習BⅠ	ARL738	1	伊藤 高章	M2対象科目
MARL7530	休講	臨床スピリチュアルケア実習BⅡ	ARL739	1	伊藤 高章	M2対象科目
MARL9010	休講	修士論文	ARL888	0	死生学専攻各指導教員	

5. 研究指導一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	担当教員名	備考
MARL1101	春	研究指導	ARL888	島菌 進	指導科目
MARL1111	春	研究指導	ARL888	伊藤 高章	指導科目
MARL1121	春	研究指導	ARL888	浅見 昇吾	指導科目
MARL1131	春	研究指導	ARL888	高山 貞美	指導科目
MARL1141	春	研究指導	ARL888	山岡 三治	指導科目
MARL1151	春	研究指導	ARL888	武田 なほみ	指導科目
MARL1102	秋	研究指導	ARL888	島菌 進	指導科目
MARL1112	秋	研究指導	ARL888	伊藤 高章	指導科目
MARL1122	秋	研究指導	ARL888	浅見 昇吾	指導科目
MARL1132	秋	研究指導	ARL888	高山 貞美	指導科目
MARL1142	秋	研究指導	ARL888	山岡 三治	指導科目
MARL1152	秋	研究指導	ARL888	武田 なほみ	指導科目